

令和4年度 甲府河川国道事務所の事業概要

甲府河川国道事務所では、「国民の安全・安心の確保」、「社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大」、「豊かで活力ある地方創りと分散型の国作り」に向け、令和4年度は、河川：約10億円、道路：約58億円、合計：約68億円（維持管理費、調査費等を除く）の事業費をもって、河川・道路事業を実施します。

【主な河川事業】

■富士川河川改修事業

- ・浸水被害の解消、大規模災害時の迅速な復旧活動のため、富士川で、『切石・手打沢地区築堤』や『木島地区河川防災ステーション』等の整備を推進します。

■富士川河川環境整備事業

- ・水辺に更なる賑わいを創出し、川とまちが一体となった魅力的なまちづくりに向け、笛吹川で、『市川三郷地区水辺環境整備』等の整備を推進します。

■富士川流域治水プロジェクト

- ・激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、富士川流域全体であらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進していきます。

【主な道路事業】

■改築事業

- ・『新山梨環状道路 北部区間』は、桜井地区において用地買収に着手します。
- ・『上石田改良』は、富竹地区において工事に着手します。
- ・『新笹子トンネル改修』は、トンネル工事に着手します。
- ・『新屋拡幅』は、（仮称）道の駅富士吉田交差点から富士見バイパス南交差点間の工事に着手します。

■交通安全事業

- ・『四方津地区歩道整備』は、四方津駅前からコモアブリッジ間の工事に着手します。
- ・『道の駅富士川』において、第二駐車場整備に新規着手します。

■道路調査

- ・『中部横断自動車道（長坂～八千穂）』の事業化に向けて、都市計画、環境アセスメントを進めるための調査等を実施します。

発表記者クラブ

山梨県政記者クラブ、静岡県政記者会、神奈川建設記者会、竹芝記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

住所：山梨県甲府市緑が丘1丁目10-1 電話：055-252-5491（代表）

：河川副所長 阿部昌幸（あべ まさゆき）

：道路副所長[改築] 本住武司（もとすみ たけし）

：道路副所長[管理] 藏園和人（くらその かずと）

甲府河川国道事務所の概要	4
【河川事業】	
主要事業位置図（河川）	5
事業費（河川）	6
富士川 河川改修事業（切石・手打沢地区築堤）	7
富士川 河川改修事業 （木島地区河川防災ステーション）	8
富士川 河川改修事業（栄地区護岸整備）	9
富士川 河川改修事業（一宮町田中地区護岸整備）	10
富士川総合水系環境整備事業 （五貫島地区水辺環境整備）	11
富士川総合水系環境整備事業 （高田地区水辺環境整備）	12
富士川総合水系環境整備事業 （笛吹石和地区水辺環境整備）	13
富士川総合水系環境整備事業 （山梨市万力公園地区水辺環境整備）	14
河川維持管理（1）	15
河川維持管理（2）	16
流域治水プロジェクト	17、18
【道路事業】	
主要事業位置図（道路）	19
事業費（道路）	20
国道 20号 新山梨環状道路 北部区間	21
国道 20号 新笹子トンネル改修	22
国道 20号 大月バイパス	23
国道 52号 上石田改良	24
国道 138号 新屋拡幅	25
国道 139号 都留バイパス	26
中部横断自動車道（富沢～六郷）	27
国道 20号 四方津地区歩道整備	28
国道 20号 初狩地区歩道整備	29
国道 20号 一ツ谷交差点改良	30
国道 20号 広瀬交差点改良	31

国道 20号 三社神社入口交差点改良	32
国道 52号 万沢地区歩道整備	33
国道138号 山中湖自転車歩行者道整備	34
国道138号 明神前歩道整備	35
国道139号 上暮地歩道整備	36
道の駅「富士川」	37
電線共同溝事業（甲府圏域エリア）	38
電線共同溝事業（富士北麓エリア）	39
道路維持管理	40
道路の老朽化対策	41～44
道路メンテナンス会議	45
道路の防災対策	46
【災害対策・復旧・DX】	
令和4年度の道路調査の見通しについて	47
中部横断自動車道【調査中】	48
インフラDX（河川事業）	49
インフラDX（道路事業）	50
地域防災の取り組み	51
中部横断自動車道の概要	52
中部横断自動車道（山梨～静岡）全線開通後の交通状況	53
中部横断自動車道（山梨～静岡） 全線開通によるストック効果	54～57
【参考】令和元年東日本台風による山梨県への影響	58
【参考】令和元年東日本台風による被災箇所と復旧状況	59、60

甲府河川国道事務所の概要

当事務所は、災害に強く、誰もが安心して暮らすことができる活力と魅力に満ちた国土づくりを目指し、河川事業及び道路事業を実施しています。

■河川事業

富士川、釜無川及び笛吹川等の計約122kmの維持管理、浸水被害解消のための築堤護岸等の整備や河川防災ステーションの整備、環境整備等を行っています。

■富士川上流出張所 管理区間
(富士川 富士橋～武田橋 23.0m)
(笛吹川 合流点～JR身延線鉄橋 5.5km)
(御勅使川 合流点～御勅使川橋 1.8km)
(塩川 合流点～塩川橋 1.0m)

■富士川中流出張所 管理区間
(富士川 静岡・山梨県境～富士橋 44.0m)
(早川 合流点～早川橋 3.0km)

■富士川下流出張所 管理区間
(河口～静岡・山梨県境 18.0m)

管理区間長(総延長122.1km)
富士川(85.0m)
・早川(3.0m)
・笛吹川(28.0m)
五割川(0.1km)、蛭沢川(0.3km)、
濁川(0.4km)、日川(1.0m)、重川(1.5km)
・御勅使川(1.8km)
・塩川(1.9m)

■笛吹川出張所 管理区間
(笛吹川 JR身延線鉄橋～岩手橋 22.5m)
(日川 合流点～日川橋 1.0km)
(重川 合流点～重川橋 1.5km)
(濁川 合流点～0.4m)
(蛭沢川 合流点～0.3km)
(五割川 合流点～0.1km)

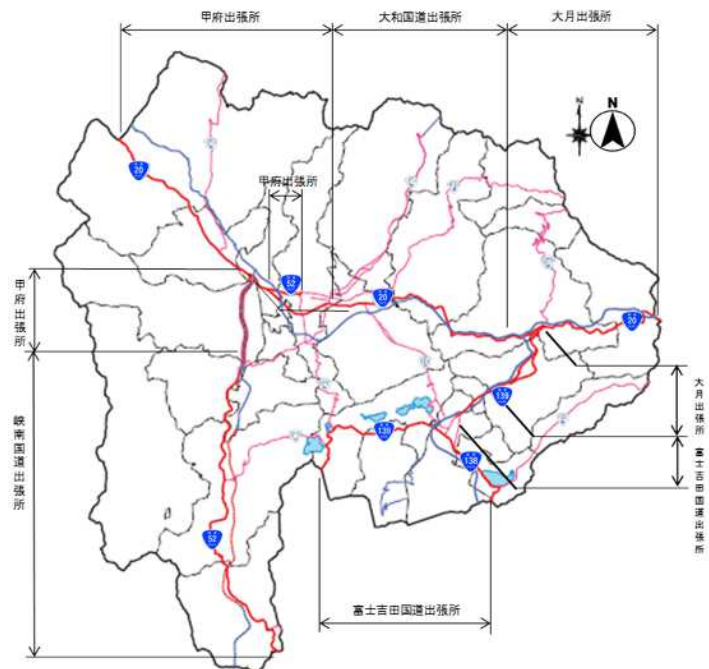
■道路事業

国道20号、52号、138号、139号、中部横断自動車道の5路線、計約270kmの維持管理、新設・改築、防災対策、交通安全対策等を行っています。

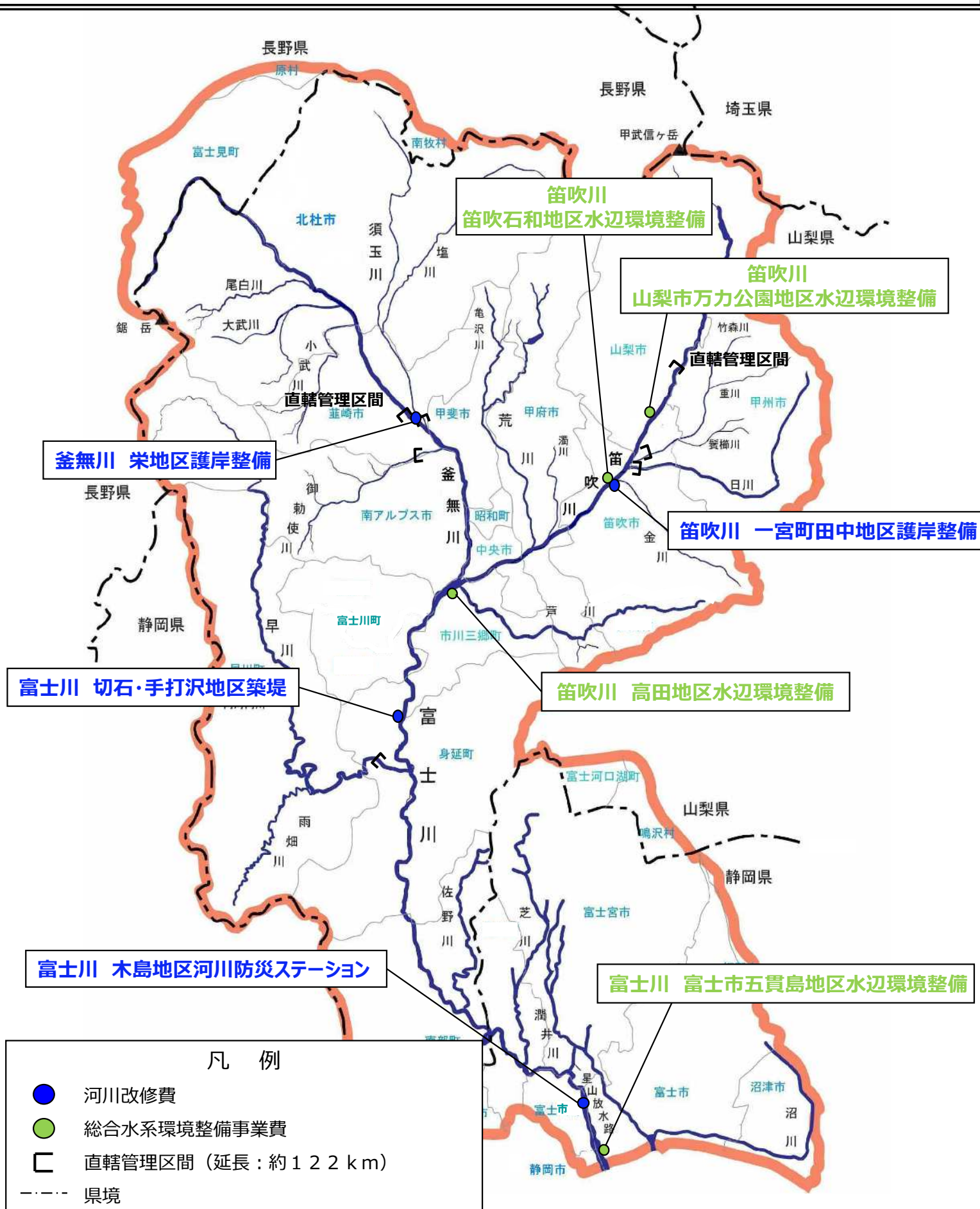
●出張所別路線別管理区間延長 (単位: km) (2022年4月23日時点)

路線 出張所	国道 20号	国道 52号	国道 138号	国道 139号	中部横断 自動車道	計
大月 出張所	29.5 (3.2)			19.6 (6.4)		49.1 (9.6)
大和 国道 出張所	31.1					31.1
甲府 出張所	42.9	20.1 (0.5)				63.0 (0.5)
峡南 国道 出張所		52.6			28.4	81.0
富士吉田 国道 出張所			14.2	32.0		46.2
計	103.5 (3.2)	72.7 (0.5)	14.2	51.6 (6.4)	28.4	270.4 (10.1)

※ () 書きはバイパス管理区間延長 (内書き)



主要事業位置図(河川)



事業費(河川)

令和4年度 甲府河川国道事務所 事業費(河川)

(単位:百万円)

事業名		事業費
河川改修費	・富士川 切石・手打沢地区築堤 ・富士川 木島地区河川防災ステーション ・釜無川 栄地区護岸整備 ・笛吹川 一宮町田中地区護岸整備	900
総合水系 環境整備事業費	・富士川 五貫島地区水辺環境整備 ・笛吹川 高田地区水辺環境整備 ・笛吹川 笛吹石和地区水辺環境整備 ・笛吹川 山梨市万力公園地区水辺環境整備	115
合計		1,015

※上記のほか、河川維持修繕費、諸経費等がある。

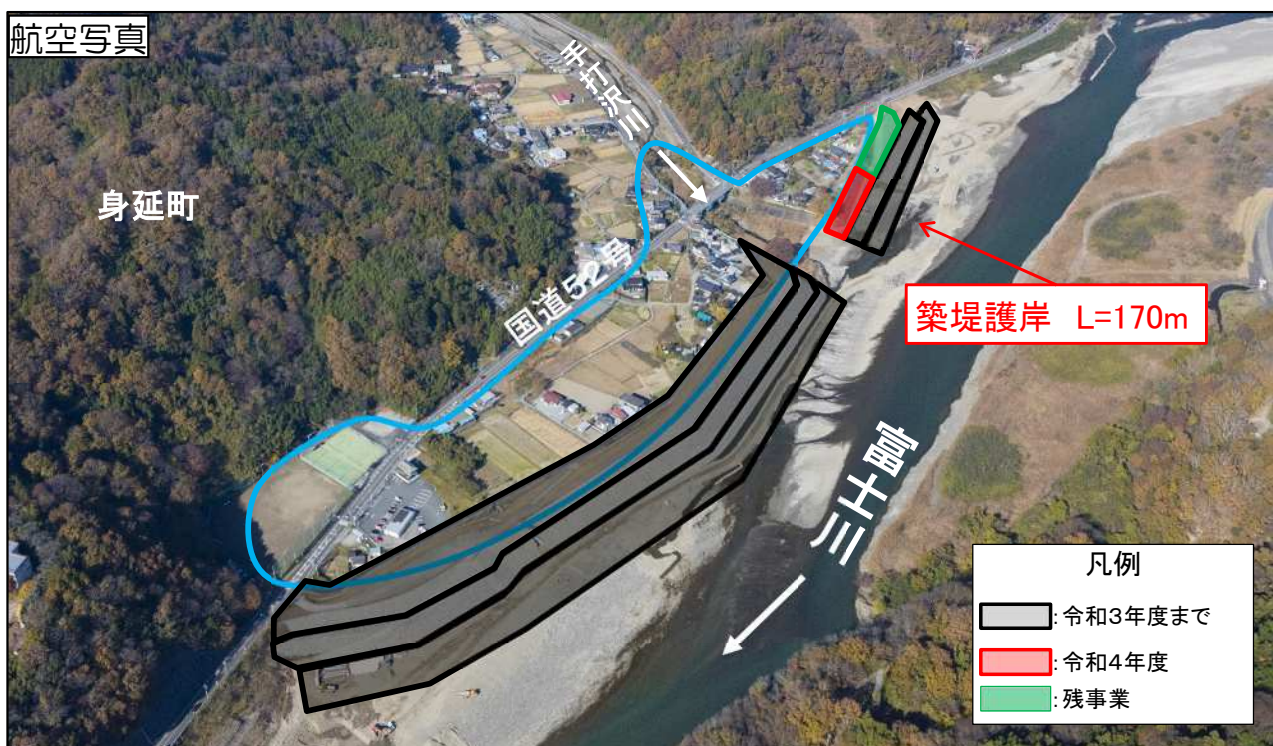
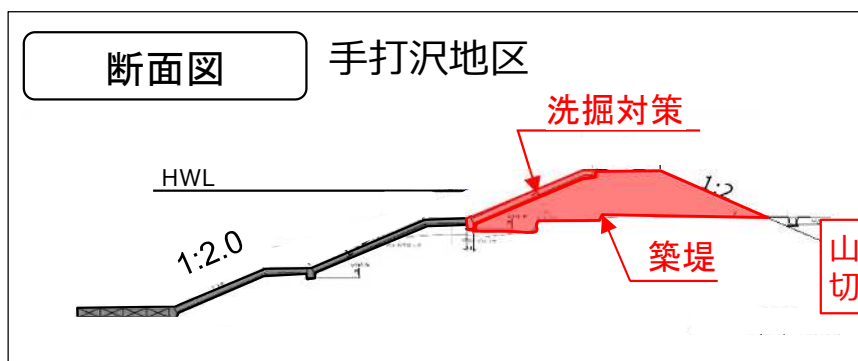
【事業の概要】

身延町切石・手打沢地区は、身延町役場があり、災害時には町の中核機能として重要な箇所ですが、昭和34洪水、昭和57洪水では堤防が無い、或いは低い箇所の為、浸水被害が発生しました。

このため、築堤護岸整備を実施し、浸水被害の解消を図ります。

【令和4年度の予定】

切石・手打沢地区の築堤護岸整備を実施します。



【事業の効果】

無堤防地区の築堤護岸等を整備し、戦後最大降雨(昭和57年洪水)による浸水被害の解消が期待されます。

【事業の概要】

富士川下流部は人口、資産が集中する加島平野を抱えるとともに、東名高速道路や東海道新幹線等の東西日本を結ぶ大動脈が存在するため、ひとたび氾濫すれば甚大な被害が生じる恐れがあります。また、当地区は南海トラフ巨大地震による被害も懸念されています。

このため、氾濫時や大規模災害時において、迅速な復旧活動を行うための、河川防災ステーションを整備します。

【令和4年度の予定】

資材備蓄ヤードの基盤盛土を実施します。



災害時においては、水防センターや一時避難場所として活用され、また、ヘリポートなど水防活動の拠点となります。



災害時においては、被災箇所の迅速かつ円滑な復旧活動を行うための資機材提供を行う拠点となります。

航空写真



【事業の効果】

河川防災ステーションを整備することにより、大規模災害時において、迅速な復旧活動の拠点となります。

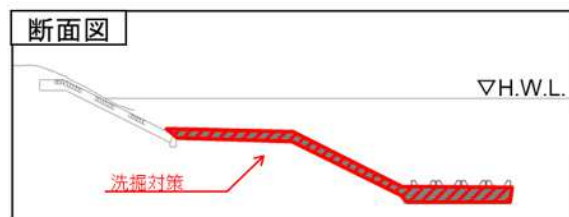
【事業の概要】

富士川水系における流域治水の一環として、釜無川（^{にらさき し さかえ} 韮崎市栄町地区）において洗掘対策等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

【令和4年度の予定】

洗掘対策のため護岸整備を実施します。

航空写真



【事業の効果】

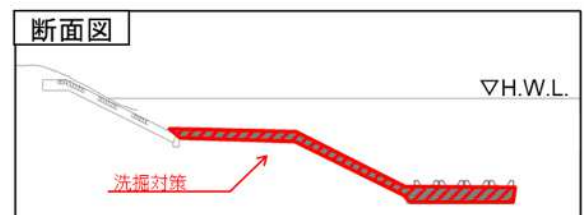
洗掘対策のため護岸を整備することで堤防の強化が期待されます。

【事業の概要】

富士川水系における流域治水の一環として、笛吹川(笛吹市一宮町田中地区)において洗掘対策等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

【令和4年度の予定】

洗掘対策のため護岸整備を実施します。



【事業の効果】

洗掘対策のため護岸を整備することで堤防の強化が期待されます。

【事業の概要】

富士市五貫島地区には、大規模総合運動公園である富士川緑地公園があり、市が富士山に続く観光資源の創出を図るため、富士川緑地公園の再整備を実施しており、スポーツの全国大会開催が可能となる様に施設のレイアウト変更や機能向上を図っています。

この市の取り組みに合わせ、河川を利用する上での安全・安心に係る河川管理用施設を整備し、魅力ある施設と連携した賑わいのある水辺空間を創出します。

【令和4年度の予定】

坂路改良を実施します。



【五貫島地区】



【事業の効果】

市による富士川緑地公園の再整備に合わせ、大型バスの通行可能なアクセス道路を整備し、災害時における災害対策車両の動線確保を行うことで、更なる良好な河川空間が形成され地域の活性化を図るとともに、災害時における防災機能の向上を図ります。

【事業の概要】

市川三郷町では、令和元年度にかわまちづくり計画を登録し、水辺のレクリエーション利用の促進、花火等の地域産業活性化に取り組んでいます。

このため、治水上や河川を利用する上での安全・安心に係る河川管理用施設を整備し、市川三郷町のまちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間を創出します。

【令和4年度の予定】

管理用通路の整備を実施します。



【市川三郷町地区】

航空写真



【事業の効果】

背後地から河川内へのアクセスを容易にする河川管理用通路（坂路）や、花火大会や各種イベント時にも利用可能な階段護岸等を整備することで、市川三郷町が掲げる「花火で観光まちづくり」のテーマと連携し、水辺空間の創出、地域活性化を図るとともに、治水上の機能や河川巡視等における河川管理上の機能の向上を図ります。

【事業の概要】

現在、^{ふえ ふき がわ} 笛吹川の^{い さ わ} 石和地区の下流においては、サイクリング、散策等の日常的な利用や、^{かわ な か し ま} 川中島合戦戦国絵巻、花火大会、体験型鵜匠等のイベントなど、様々な河川利用がなされています。

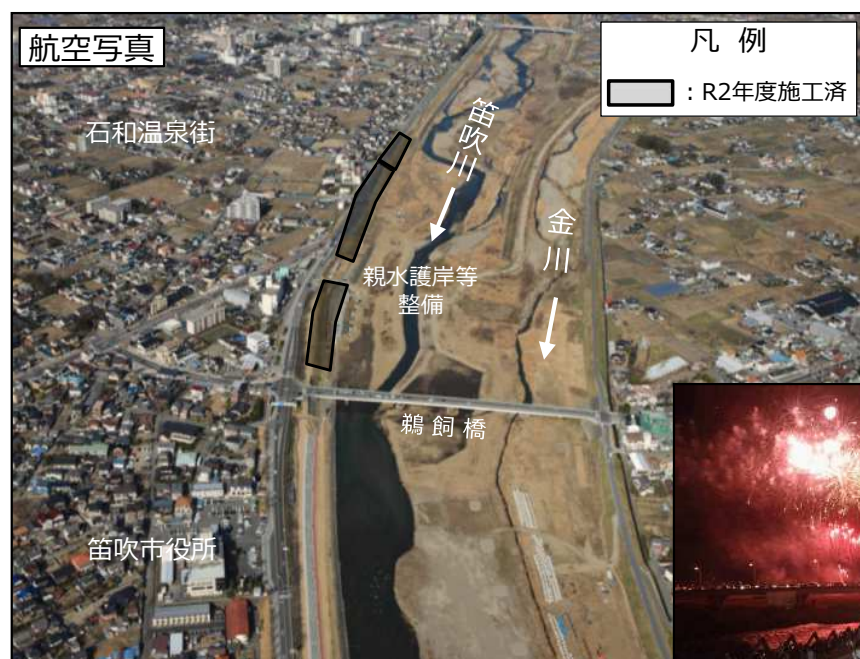
笛吹市における「笛吹市ミズベリング構想」では、笛吹川の石和地区、石和温泉街等の周辺地域も含めて一体的に整備を行うことにより、市民の憩いの場、観光資源として更に魅力的なまちづくりを目指しています。

本事業では、堤防強化と併せて、「笛吹市ミズベリング構想」を踏まえ、「笛吹市かわまちづくり」計画に基づき、河川利用上の安全安心を確保した上で水辺の活用を行うことができるよう親水護岸を整備し、河川空間の利用促進による地域活性化を図ります。

R2年度に親水護岸整備が完了し、R4年度は利用状況等のモニタリングを実施します。

【令和4年度の予定】

モニタリングを実施します。



【事業の効果】

^{ふ え ふ き} 笛吹市の「かわまちづくり」と連携して親水護岸の整備を実施し、河川空間の利用促進により地域活性化に寄与します。

ふ じ かわ
富士川総合水系環境整備事業（山梨市万力公園地区水辺環境整備）

やまなし し まんりき こうえん

【事業の概要】

やまなし し まんりき こうえん

山梨市万力公園地区は、市が万力公園・万葉の森と隣接する笛吹川一帯を整備することで、賑わい・活力の創出、都市機能の充実、都市住民が自然と共存し憩える場となるような取り組みを行っています。また、当該地区には笛吹川沿いに隣接する医療施設があるため、既設のウォーキングコースと連携した河川管理用通路や、千鳥が生息可能な河川の整備を行い、水辺の癒し空間の創出に取り組みます。

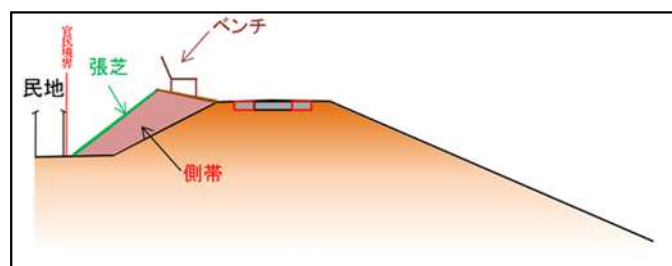
【令和4年度の予定】

管理用通路等の設計を実施します。

【万力公園地区水辺整備整備イメージ】



【イメージ図】



【事業の効果】

国が河川管理用通路と坂路の整備、市がウォーキングコースの拡張とベンチ、遊歩道の整備を実施することで、まちの魅力向上を図るとともに、河川巡視等における河川管理上の機能の向上を図ります。

また、国によるレキ河原再生のための河川整備により、より良好な河川環境を形成します。

河川維持管理(1)

【事業の概要】

富士川は長野・山梨・静岡の3県にまたがる流域面積が3,990km²、幹線流路延長が128kmの一級河川で、そのうち甲府河川国道事務所で管理する延長は、富士川、釜無川及び笛吹川等合わせて約122kmです。

沿川住民が安心して生活でき、多くの人々から親しまれる河川とするために堤防、護岸、河川構造物等の河川管理施設の維持・管理や堤防除草、河川巡視や定期的な点検等を実施しています。また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」にのっとり、防災・減災、国土強靱化を強力に推進するため、流域治水対策として樹木伐採、河道整正を行います。

【令和4年度の予定】

○日常管理

- ・堤防、護岸や排水機場等の河川管理施設の点検を行います。点検により、変状が確認された際には、補修等を行います。
- ・堤防の状態を点検・把握するために堤防除草を実施します。
- ・川の機能が正常に保たれているか、また堤防や樋管などに変状がないかなど、管内の河川巡視を実施します。

堤防点検



河川管理施設の点検



堤防除草



河川巡視



河川維持管理(2)

○緊急時の対応

・洪水や地震が発生した場合は、堤防、護岸、樋門や排水機場など河川管理施設の状況を巡視し、異常等が確認された場合は迅速に対応します。



令和元年台風19号の出水の影響により
河岸侵食が発生。（にらさきしもじょうひがしわり）
（韮崎市下條東割地先）



被災後、緊急対応として根固めブロックの設置を実施。

○河川の機能を維持するための工事

・洪水時の安全な流れの阻害となったり、河川の状況把握に支障となる河川内に繁茂した樹木の伐採を行います。



河道内に著しく繁茂した樹木により、洪水時に水が流れにくくなります。また、河川の状況の把握が出来なくなります。

樹木伐採



（令和3年度実施箇所）
（中央市今福新田地先）

樹木伐採により、洪水を安全に流下させます。また、河川の状況の把握が容易に出来ます。

○コスト縮減への取り組み

- ・伐採した樹木については、一般へ無料配布を行うことにより処分費にかかる経費の縮減を行っています。
- ・平成27年度から、更なる経費の縮減を行うため、公募による樹木の伐採を行っており、今年度も継続して実施していきます。



（令和3年度無料配布の状況）
（山梨県南アルプス市東南湖地先）

流域治水プロジェクト

- 流域治水とは、気候変動の影響による激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（薄いが河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 **集水域**
 [国・市、企業、住民]
 雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

流水の貯留 **河川区域**
 [国・県・市・利水者]
 治水ダムの建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用
 [国・県・市]
 土地利用と一体となった遊水機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上
 [国・県・市]
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす
 [国・県]
 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導
住まい方の工夫
 [県・市、企業、住民]
 土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討

氾濫域
浸水範囲を減らす
 [国・県・市]
 二線堤の整備、自然堤防の保全



県：都道府県 市：市町村 []：想定される対策実施主体

③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 **氾濫域**
 [国・県]
 水害リスク情報の空白地帯解消、多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
 [国・県・市]
 長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
 [企業、住民]
 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫
 [企業、住民]
 不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

被災自治体の支援体制充実
 [国・企業]
 官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

氾濫水を早く排除する
 [国・県・市等]
 排水門等の整備、排水強化

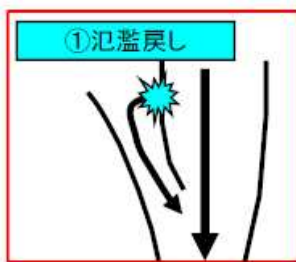
■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト：甲府河川国道事務所】

『二線堤・霞堤の保全・整備 等』

2. 被害対象を減少させるための対策
- (3) 浸水範囲の限定・氾濫水の制御
- ① 二線堤の整備や自然堤防の保全

※別紙「各対策のパーチャート」における分類

霞堤の機能について



上流側で破堤した氾濫水を、本川に戻す機能である。特に、氾濫原の地形勾配が急で本川からの逆流が少ない、急流河川において効果的である。急流河川である釜無川の霞堤は、この氾濫戻し機能が顕著である。



本川の洪水を逆流させて一時的に貯留する、いわゆる自然遊水地における洪水調節機能である。特に、氾濫原の地形勾配が緩く本川からの逆流が可能な、緩流河川において効果的である。



内水や支川の洪水を、本川に戻す機能である。本川からの逆流が少ない地域において、樋管がなくても内水排除ができる。



富士川流域に現存する歴史的治水施設（二線堤・霞堤）について、保全と整備を図るとともに、現在期待出来る効果や、施設周辺の土地利用状況などの把握を行い、施設の効果を生かすための課題に取り組む。

富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織
 甲府河川国道事務所、甲斐市

流域治水プロジェクト

■ 対策事例 【富士川流域治水プロジェクト:市町村(、国土交通省、県)】

『地図等を用いた災害教訓の“見える化”』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実
 - (3) 避難体制等の強化
 - ⑤ 住民の主体的な避難行動につながるための平時の取組

■ 対策の概要

- ・ 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄(災害の模様や被害の状況など)が記載されている石碑やモニュメントである「自然災害伝承碑」の情報を、地形図等に掲載することで、災害教訓を“見える化”する取組を国土地理院において実施中。
- ・ 富士川流域における自然災害伝承碑の情報を登録し、地図を通じて過去の自然災害の教訓を防災教育に活用することで、地域住民の防災意識の向上が図られ、的確な防災行動による被害の軽減を目指す。

< 自然災害伝承碑の登録事例(山梨県韮崎市) >



< 過去の災害情報を知る機会作り、災害履歴を学ぶ防災教育素材、講習会等で防災意識向上となる起因等を期待 >



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村(引き続き他の市町村に展開予定)
北杜市(7箇所)、韮崎市(5箇所)、南アルプス市(1箇所)、富士市(2箇所)、沼津市(2箇所)、静岡市(8箇所)

計25箇所 ※R4.3.15時点掲載

■ 対策事例 【富士川水系流域治水プロジェクト:市町村(、国土交通省他)】

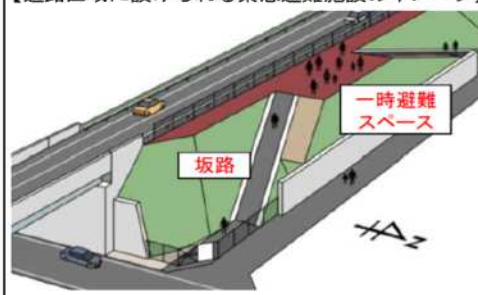
『道路高架区間の一時避難場所としての活用』

- 3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実
 - (3) 避難体制等の強化
 - ③ 安全な避難先の確保

■ 対策の概要

- ・ 昨今の豪雨災害を踏まえ、地方自治体では洪水等発生時の緊急避難場所の確保が急務。
- ・ 洪水等の浸水想定エリアと重複する道路(直轄国道・高速道路)区間のうち、浸水想定より道路の方が高い道路区間を抽出。
- ・ 地方自治体から緊急避難場所として要望のある箇所に対し、避難施設等を設けることで、洪水等発生時の住民の安全を確保。

【道路区域に設けられる緊急避難施設のイメージ】



【整備事例】国道20号(甲斐市下今井)



富士川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている組織(括弧内は、緊急避難施設の路線名・道路管理者)
甲斐市(国道20号・甲府河川国道事務所、中央自動車道・NEXCO中日本)

※上記の他、今後、緊急避難場所として活用するニーズがある箇所について、整備等に向けて市町村と道路管理者間で調整

主要事業位置図(道路)



道路管理延長

(单位:km)

管理路線	延長
20号	104
52号	72
138号	14
139号	52
中部横断自動車道	28
合計	270

凡 例	
	改築事業
	交通安全対策事業
	電線共同溝事業

凡 例	
	国道(甲府河川)国道事務所管理区間
	国道(甲府河川)国道事務所整備区間
	国道
	地域高規格道路(整備区間)
	地域高規格道路(山梨県管理区間)
	地域高規格道路(山梨県整備区間)
	高速自動車国道および有料道路
	高速自動車国道および有料道路 (整備計画区間(但し事業中を含む))
	高速自動車国道(直轄高管理区間)

事業費(道路)

令和4年度 甲府河川国道事務所 事業費(道路)

(単位: 百万円)

事業名		事業費
改築事業		4,075
	国道20号 新山梨環状道路 北部区間	1,210
	国道20号 新笹子トンネル改修	250
	国道20号 大月バイパス	210
	国道52号 上石田改良	300
	国道138号 新屋拡幅	505
	国道139号 都留バイパス	100
	中部横断自動車道(富沢～六郷)	1,500
交通安全事業		621
	国道20号 四方津地区歩道整備	180
	国道20号 初狩地区歩道整備	39
	国道20号 一ツ谷交差点改良	174
	国道20号 広瀬交差点改良	60
	国道20号 三社神社入口交差点改良	28
	国道52号 万沢地区歩道整備	22
	国道138号 山中湖自転車歩行者道整備	51
	国道138号 明神前歩道整備	19
	国道139号 上暮地歩道整備	48
電線共同溝事業	国道20号 甲斐電線共同溝 国道20号 甲府電線共同溝 国道20号 甲府住吉電線共同溝 国道20号 甲府国母電線共同溝 国道20号 甲府徳行電線共同溝	甲府圏域地域 489
	国道139号 富士北麓電線共同溝 国道139号 富士北麓(2)電線共同溝 国道139号 本栖精進電線共同溝 国道139号 鳴沢電線共同溝	富士北麓地域 597
合 計		5,782

※上記のほか、交通安全事業(Ⅱ種)、道路維持管理費、調査費等がある。

改築事業 国道20号 新山梨環状道路 北部区間

令和4年度事業費:12.10億円

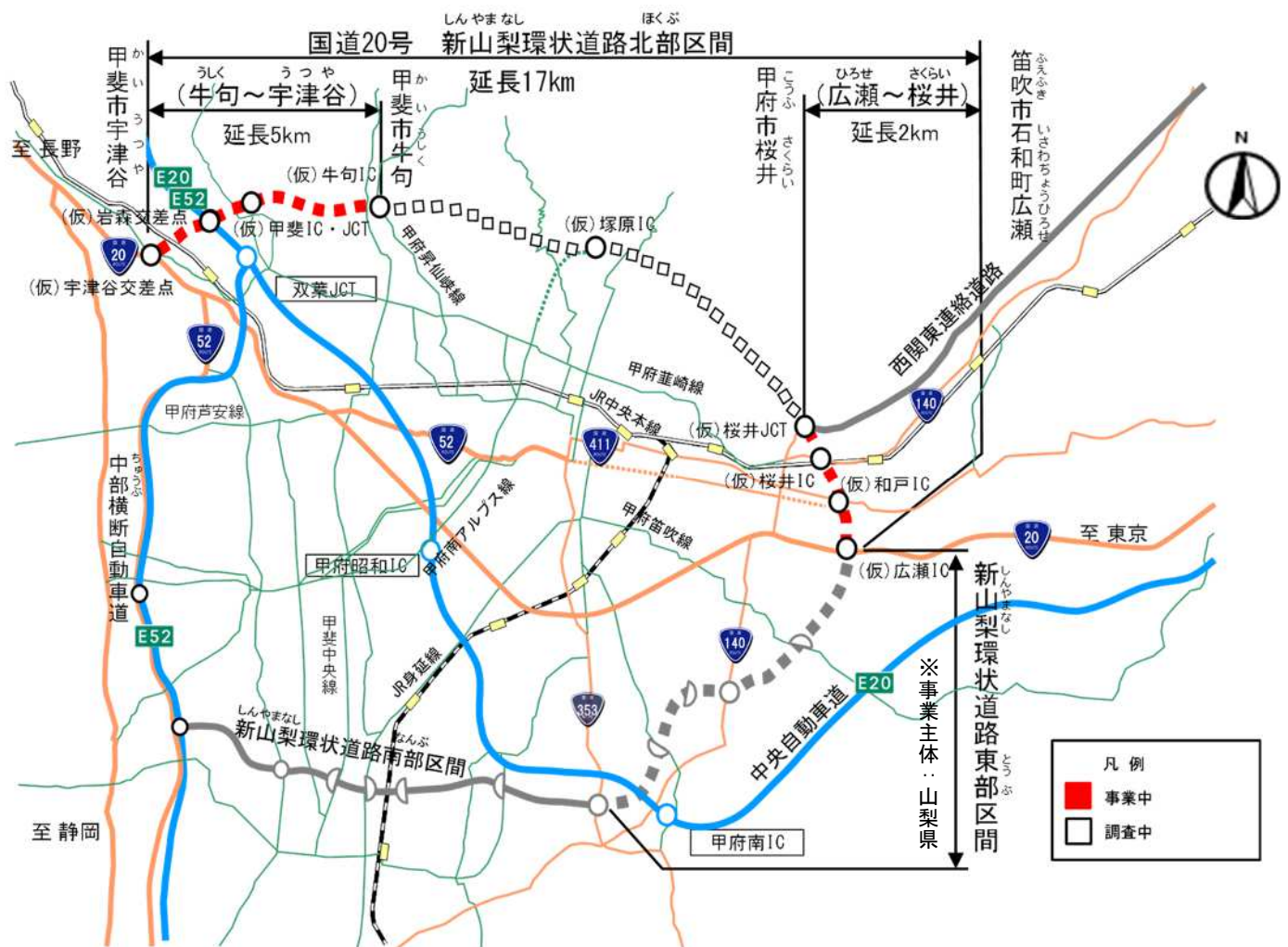
【事業の概要】

新山梨環状道路 北部区間は、甲府中心市街地から半径およそ5kmから7kmの位置に計画された環状道路の一部を形成する延長17kmの国道20号のバイパス事業です。

【令和4年度の予定】

(仮称)広瀬ICから(仮称)桜井IC間について、引き続き、調査設計を推進し、桜井地区の用地買収に着手する予定です。

また、(仮称)牛句ICから(仮称)宇津谷交差点間についても、引き続き、調査設計を推進します。



【事業の効果】

甲府中心市街地の通過交通の排除や流入交通の分散により、国道20号や国道140号、主要地方道甲府韮崎線など甲府圏域内の幹線道路の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待されます。

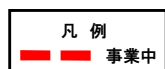
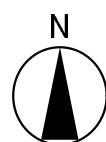
【事業の概要】

国道20号新笹子トンネル改修は、老朽化が著しく、また断面不足により背高コンテナの通行に支障をきたしている、山梨県大月市笹子町黒野田から甲州市大和町初鹿野の新笹子トンネルと、甲州市大和町初鹿野地先の観音トンネルの改修を行う事業です。

現在の新笹子トンネルについては、隣接地に新トンネルを整備し、観音トンネルについては、別線で橋梁を新設する計画としています。

【令和4年度の予定】

引き続き、調査設計、用地買収を推進し、笹子地区のトンネル工事に着手します。



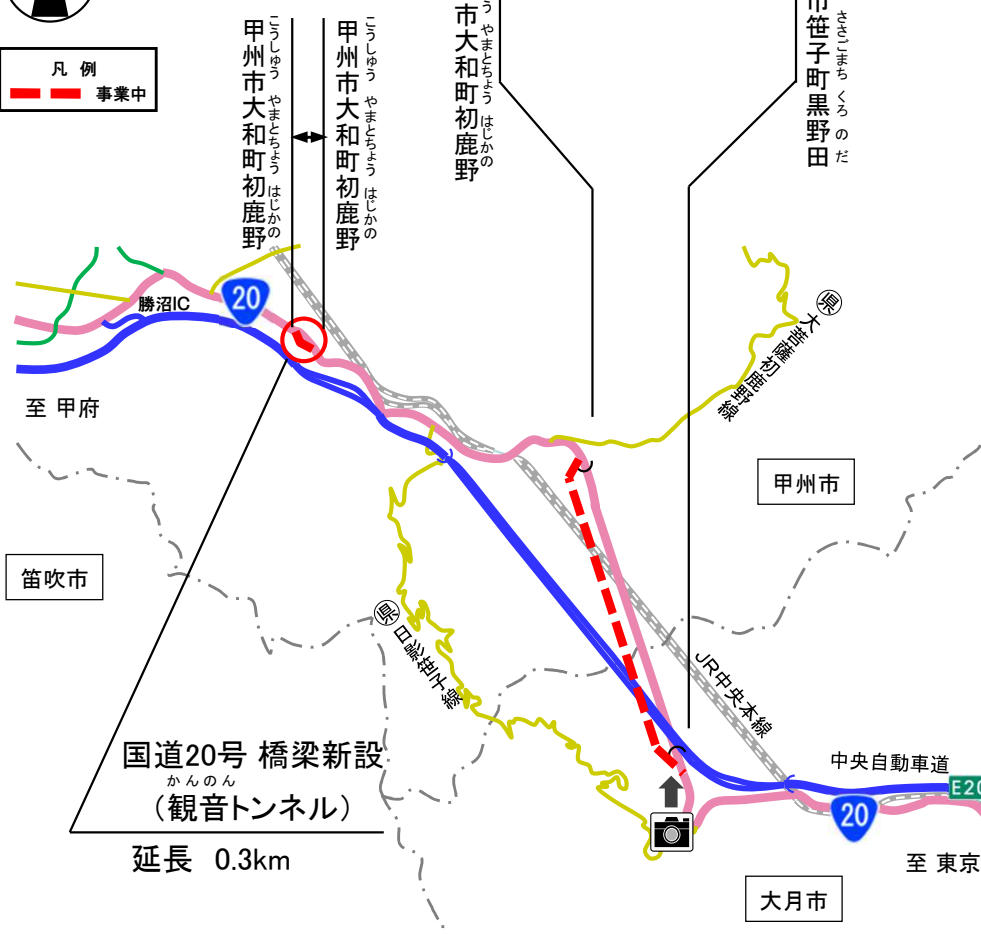
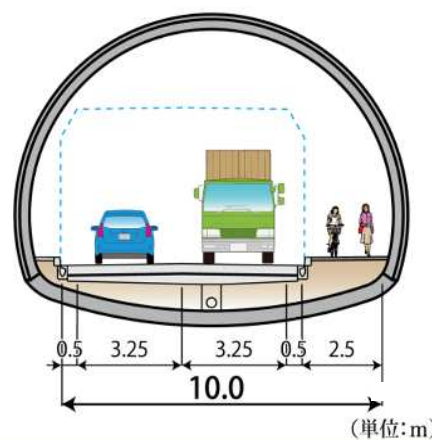
国道20号トンネル新設

(新笹子トンネル)

延長 3.3km

甲州市大和町初鹿野

大月市笹子町黒野田

【新笹子トンネルの交通状況】
令和4年3月撮影

【新笹子トンネルの改修計画断面】

【事業の効果】

- 新笹子トンネル改修が完成することにより、通過交通の安全を確保することができます。
- 背高コンテナ等の大型車の通行も可能になることから、広域物流支援につながることを期待されます。

【事業の概要】

国道20号大月バイパスは、大月市内の市街地の混雑緩和と交通安全の確保を目的とした、大月市駒橋から同市大月町花咲までの延長3.2kmのバイパス事業です。

大月市駒橋から大月市大月二丁目(国道139号)間の延長1.7kmが平成22年度までに、大月市大月二丁目(国道139号)から大月市大月町花咲(中央自動車道・大月IC)間の延長1.5kmが令和4年4月23日に開通し、これにより、大月バイパスは全線開通しました。

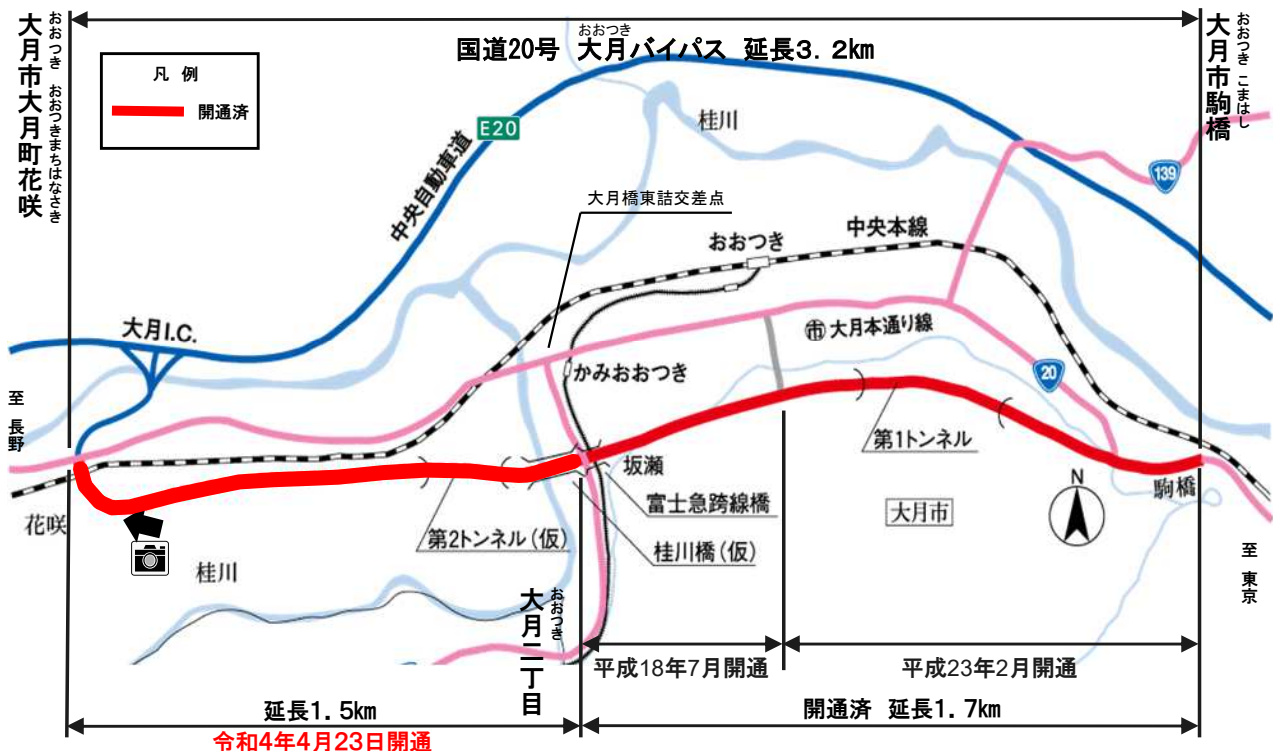


令和4年4月撮影

【令和4年度の予定】

引き続き、調査設計、改良工事を実施します。

大月バイパス終点部付近
(八王子方面を望む)



【事業の効果】

○大月市中心部の交通渋滞の緩和、通学路などの交通量減少による安全性の向上などの効果が期待されます。

○世界遺産の富士山周辺の観光地へのアクセス性の向上が期待されます。

改築事業

国道52号 上石田改良

令和4年度事業費:3.00億円

【事業の概要】

国道52号上石田改良は、甲府市富竹一丁目から甲府市寿町に至る延長1.0kmの道路拡幅事業です。

平成26年4月21日には、甲府市上石田一丁目から甲府市寿町間の延長0.75kmの4車線化が完了しています。



【令和4年度の予定】

甲府市上石田一丁目から甲府市富竹一丁目に至る延長0.25kmにおいて、引き続き、調査設計、用地買収を推進し、富竹地区改良工事に着手します。



くがわ 貢川交番前交差点 交通状況 令和元年4月撮影



【事業の効果】

甲府市街地の交通渋滞の緩和、歩道設置等による歩行者の交通安全確保などが期待されます。

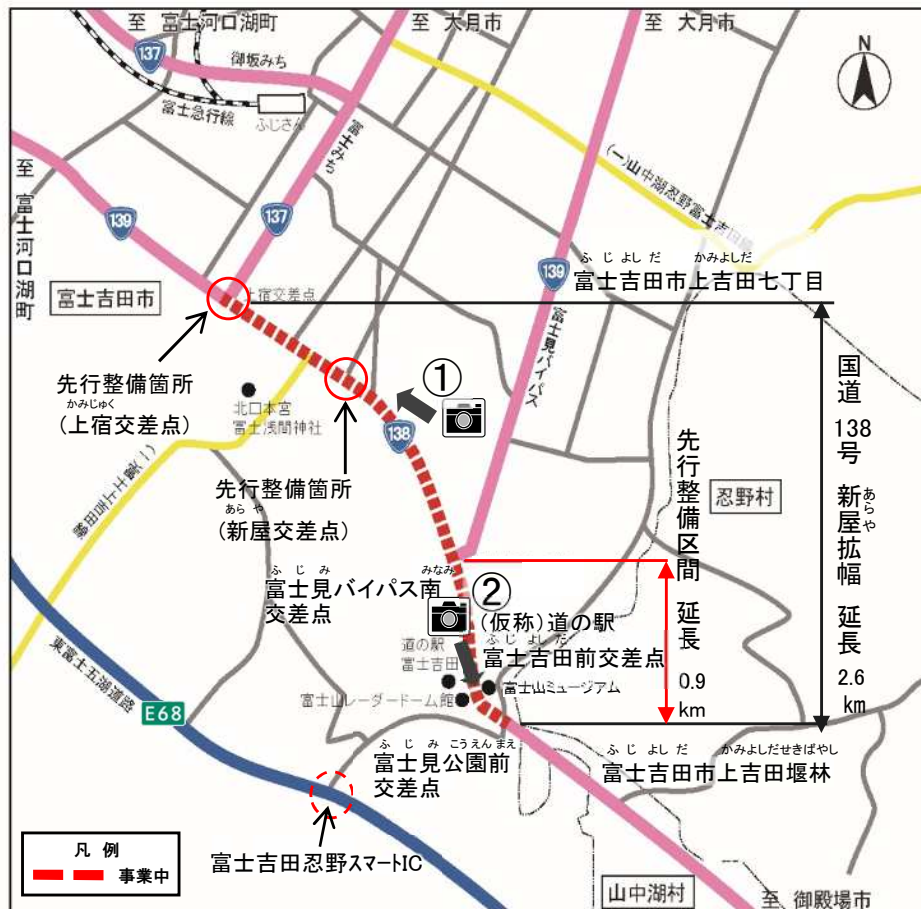
【事業の概要】

国道138号新屋拡幅は、富士吉田市上吉田七丁目から富士吉田市上吉田堰林に至る延長2.6kmの道路拡幅事業です。

令和3年11月2日に(仮称)道の駅富士吉田交差点の改良が完成しています。

【令和4年度の予定】

引き続き、用地買収、(仮称)道の駅富士吉田交差点から富士見バイパス南交差点間の工事に着手します。



【事業の効果】

富士吉田市街地の交通渋滞の緩和、歩道整備による歩行者の交通安全確保及び災害時の避難路確保などが期待されます。

【事業の概要】

国道139号都留バイパスは、都留市十日市場から都留市田野倉に至る延長8.0kmのバイパス事業です。

平成22年度までに、主要地方道都留道志線から主要地方道四日市場上野原線までの延長5.6kmが開通しています。



【令和4年度の予定】

都留市十日市場から都留市上谷六丁目、都留市井倉から都留市田野倉の一部区間において調査設計を推進します。



田原地区の歩車分離完成
令和3年4月撮影

【事業の効果】

都留バイパスの整備により交通の転換が図られ、国道139号(現道)の混雑緩和、交通事故の減少が期待されます。

【事業の概要】

ちゅうぶ おうだん しずおか
中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点とし、山梨県
かい 甲斐市を経由し長野県小諸市に至る延長約130kmの
高速自動車国道です。

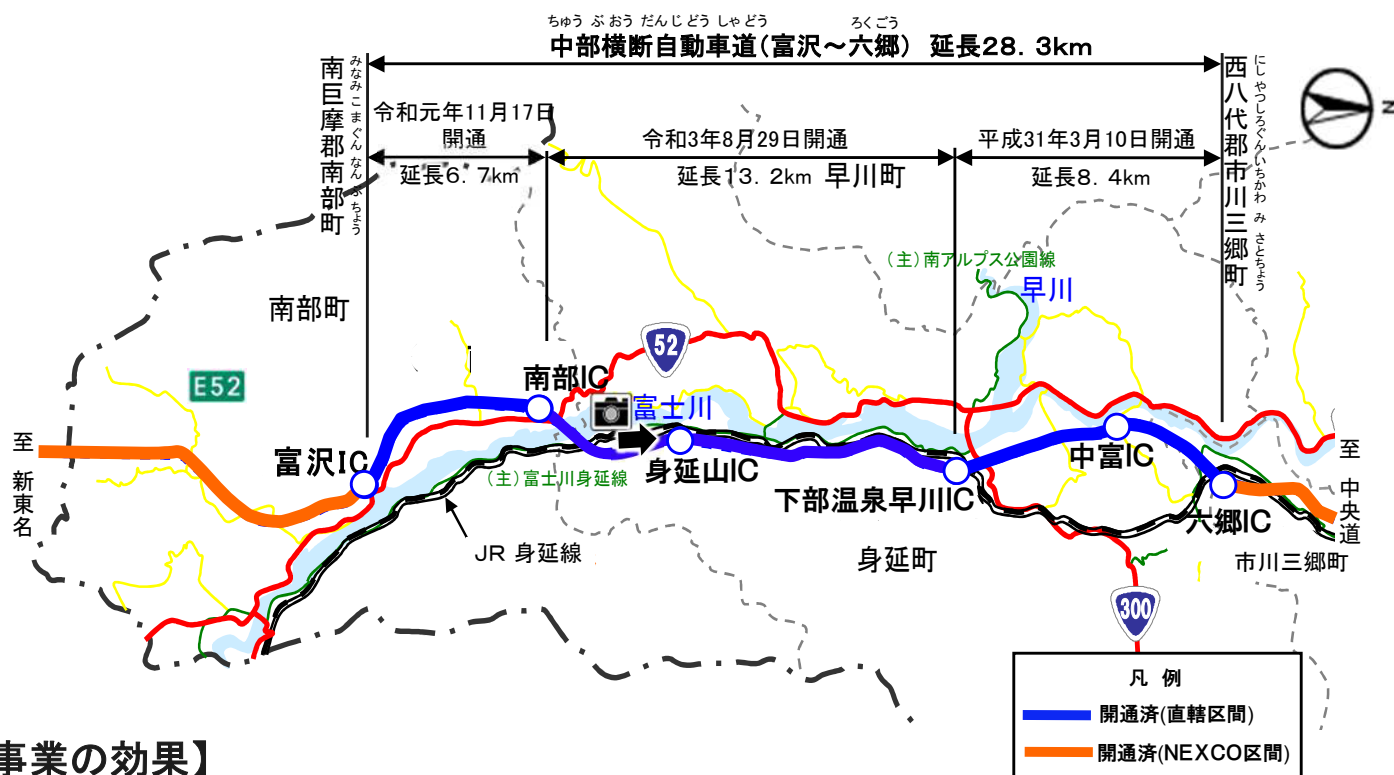
とみざわ ろくごう
山梨県区間の富沢ICから六郷ICの28.3kmについては、
平成17年度より直轄高速事業として着手し、事業を進め
ています。そのうち、しも べ おん せん はやかわ ろくごう
下部温泉早川ICから六郷IC間8.4km
とみざわ なんぶ
は平成31年3月10日、富沢ICから南部IC間6.7kmは
しず べ おん せん はやかわ
令和元年11月17日、南部ICから下部温泉早川IC間
13.2kmは令和3年8月29日に開通しました。
とみざわ ろくごう
これにより、富沢ICから六郷IC間は全線開通しました。



【令和4年度の予定】

引き続き、調査設計、改良工事を実施します。

みのぶさん
身延山IC付近



【事業の効果】

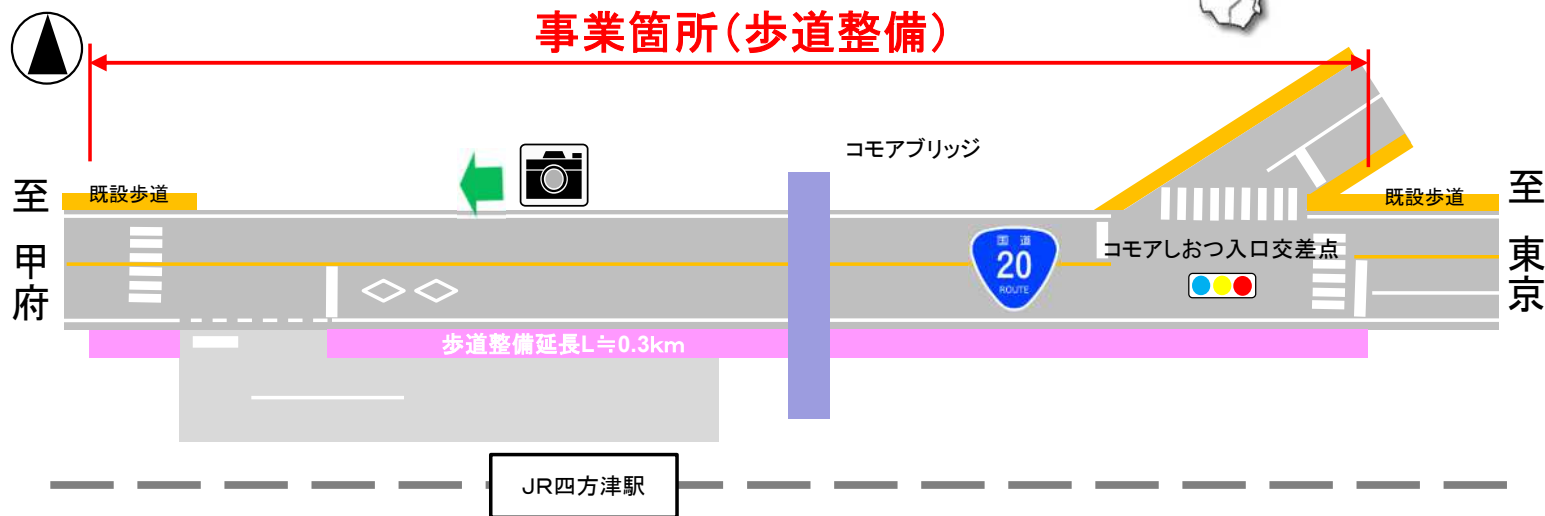
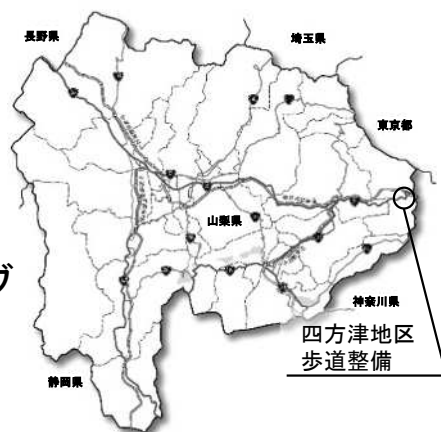
- とう かい
- 東海地震等による広域的な災害時の救急・救援ルートとして機能します。
 - 地域間をつなぐ高速道路ネットワークの形成が図られ、広域的な物流体系や観光周遊ルートの形成などにより、地域を支える産業・雇用等の創出に寄与します。

【事業の概要】

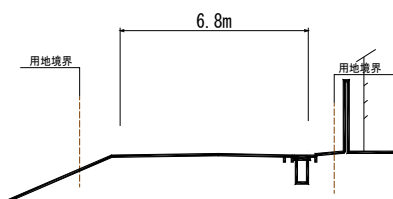
当該箇所は、国道20号の上野原市四方津地区のJR四方津駅前に位置し、近傍には、上野原市立西小学校が立地し、上野原市バリアフリー基本構想で重点整備地区に位置づけられている区間です。また、通学路に指定されているが、歩道が未整備であり、歩行者の安全性が確保されていない状況です。このため、延長0.3kmの歩道新設を行い、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものです。

【令和4年度の予定】

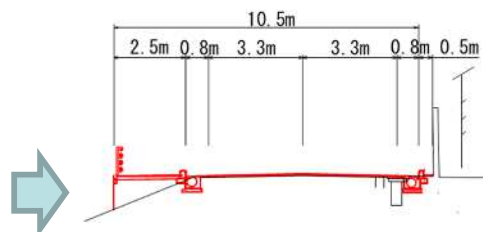
引き続き、調査設計、用地買収及び四方津駅前からコモアブリッジ間について工事着手します。



現況



計画



【事業の効果】

当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行者等の安全・安心の向上が期待されます。



【事業の概要】

当該箇所は、国道20号の^{おおつき}大月市^{はつかり}初狩地区に位置し、家屋が連担している地域であるが、歩道が未整備であり、歩行者の安全性が確保されていない状況です。

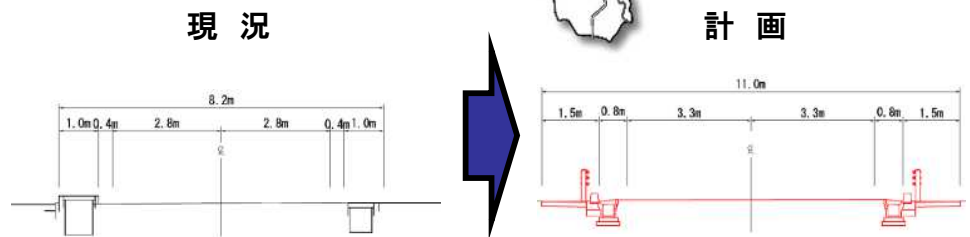
本事業は、延長0.2kmにおいて、歩道の新設や拡幅を行い、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うとともに、本線の線形改良を行うものです。

【令和4年度の予定】

引き続き、調査設計、用地買収を推進します。



至 甲府
至 東京
歩道未整備状況
[2014年3月撮影]



【事業の効果】

当該区間に歩道が整備されることにより、歩行者の安全・安心の向上が期待されます。

【事業の概要】

当該箇所は、国道20号^{にらさき} 葦崎市一ツ谷地先に位置し、国道20号から国道141号^{にらさき} 葦崎IC方面へ右左折する車両が多く、直進車両の進行を阻害している交差点であり、車両の滞留による追突事故が多発しています。

本事業は、左折路の新設及び右折レーンの延伸を実施し、車両の渋滞の緩和を行い、追突事故の低減を図るものです。



[令和4年3月撮影]



【令和4年度の予定】

調査設計、用地買収及び工事に着手します。

【事業の効果】

交差点形状の見直しを行うことにより、事故発生を軽減し、安全性の向上が期待されます。

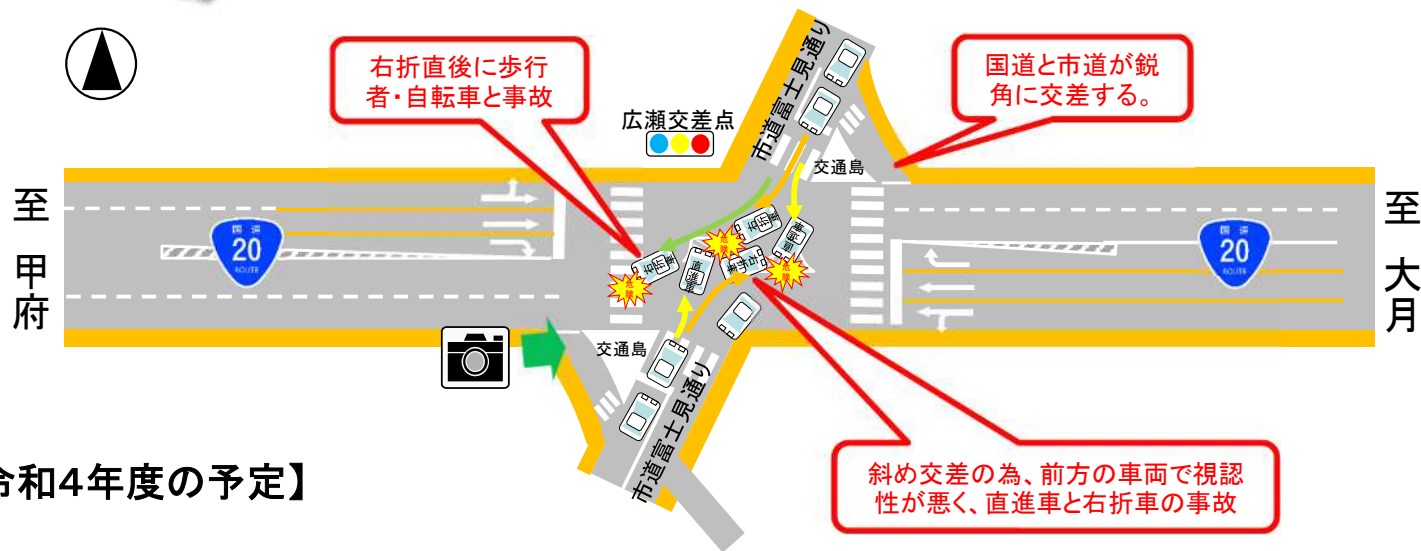
【事業の概要】

当該箇所は、国道20号^{ふえ ふき いさ わ ひろ せ}笛吹市石和町広瀬^{ふ じ み}地先に位置し、国道20号と市道富士見通りが斜めに交差しており、右左折時の視認性が悪く横断する自転車との接触事故が多発しています。また、斜め交差の影響で本線の停止線間が大きく、停止線付近での追突事故が発生している状況です。

本事業は、横断歩道や停止線の位置を前出しし、交差点のコンパクト化、視認性の向上を図る他、路面表示による走行車両への注意喚起や、右折時の走行軌跡の改善を行うものです。



[令和4年3月撮影]



【令和4年度の予定】

工事を推進します。

【事業の効果】

交差点形状の見直しを行うことにより、事故発生を軽減し、安全性の向上が期待されます。

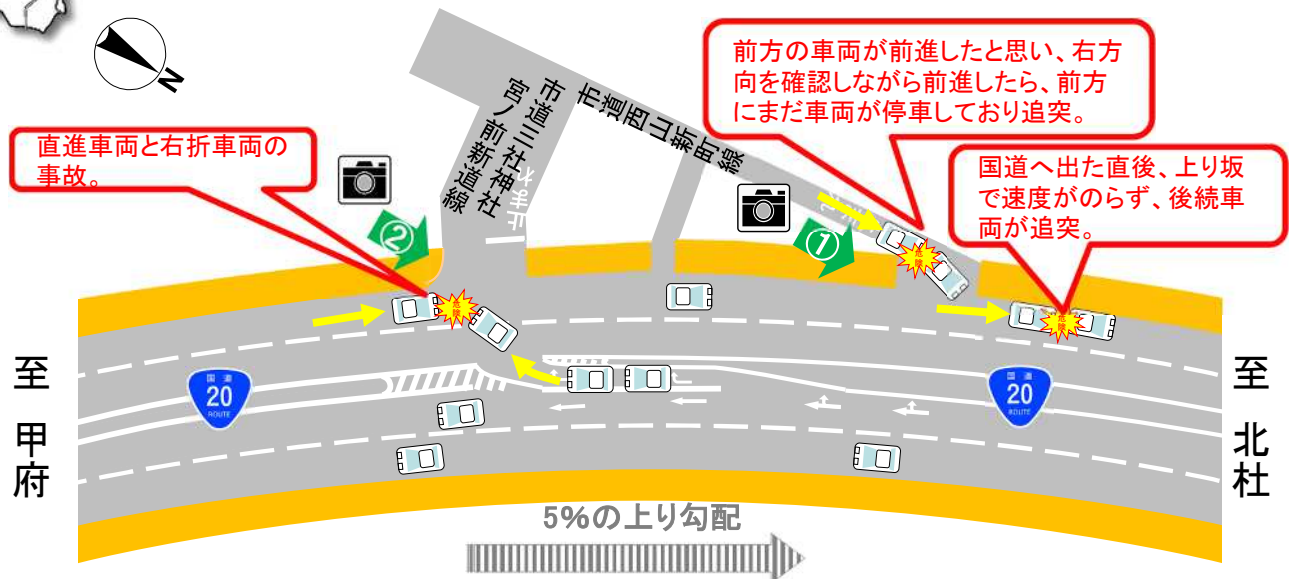
【事業の概要】

当該箇所は、国道20号甲斐市竜王地先に位置し、国道20号と甲斐市道2路線が近接する交差点で、市道から国道下り線への合流は、国道が上り勾配で、かつ北側交差点は鋭角で交差しており、追突事故が多発しています。

本事業は、交差点の集約化、右折レーンの延伸を実施し、事故対策を図るものです。



[令和4年3月撮影]



【令和4年度の予定】

調査設計、用地買収を推進します。

【事業の効果】

交差点形状の見直しを行うことにより、事故発生を軽減し、安全性の向上が期待されます。

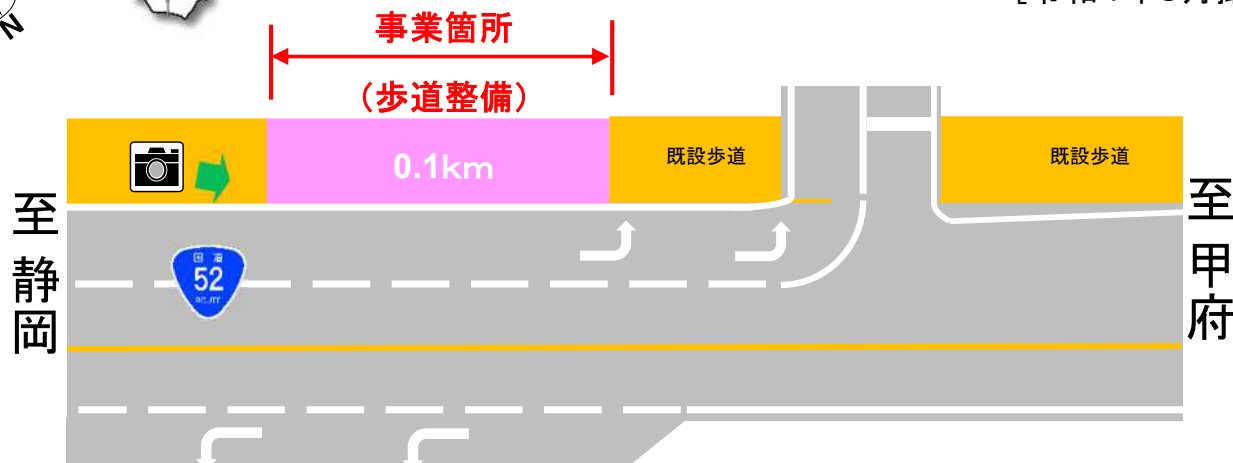
【事業の概要】

当該箇所は、国道52号南巨摩郡南部町万沢地区に位置し、前後は歩道が整備されている区間ですが、歩道が未整備であり、大型車両が通過する真横を歩行者が通行するなど危険な状況です。また近年は登山を行う目的で、当該箇所を利用する歩行者が増加傾向となっています。

本事業は、歩道を新設することにより、安全で安心な歩行空間を確保するものです。



[令和4年3月撮影]



【令和4年度の予定】

調査設計、用地買収を推進します。

【事業の効果】

当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行者の安全・安心の向上が期待されます。

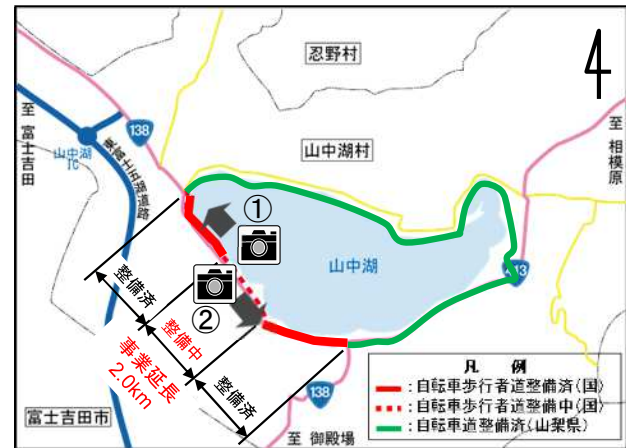
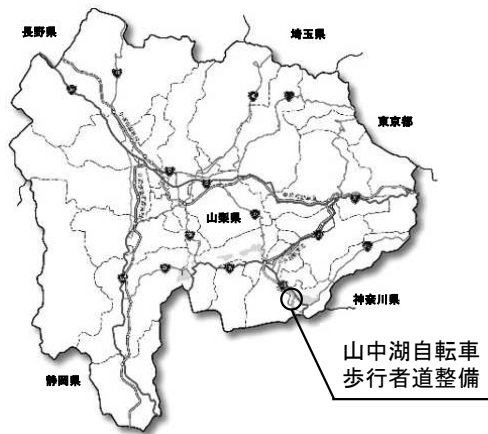
交通安全事業 国道138号 山中湖自転車歩行者道整備

やま な か こ

令和4年度事業費:0.51億円

【事業の概要】

みなみ つ る やま な か こ
南都留郡山中湖村の山中湖畔には、湖畔を一周するサイクリングロードの中で、未整備となっている区間があり、自転車利用者及び歩行者が国道を通行する自動車と併走しており、安全が確保されていない状況です。このため、延長2.0kmの自転車歩行者道の新設を行い、自転車利用者及び歩行者が安全・安心に通行できる歩行及び通行空間の確保を行うものです。



①整備済み区間
[2021年10月撮影]



②交通状況(未整備区間)
[2018年4月撮影]

【令和4年度の予定】

引き続き、調査設計、工事を推進します。

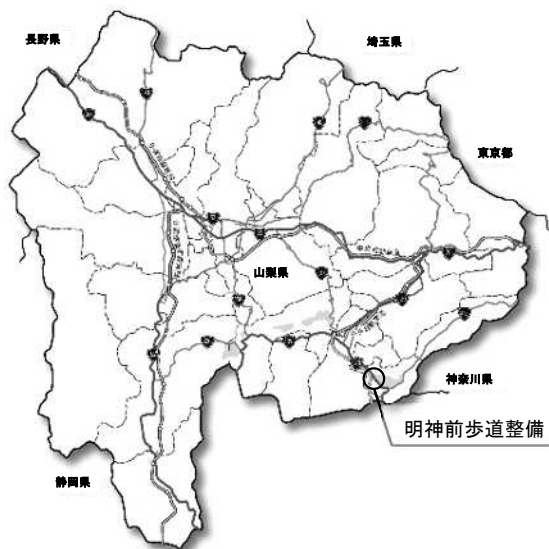
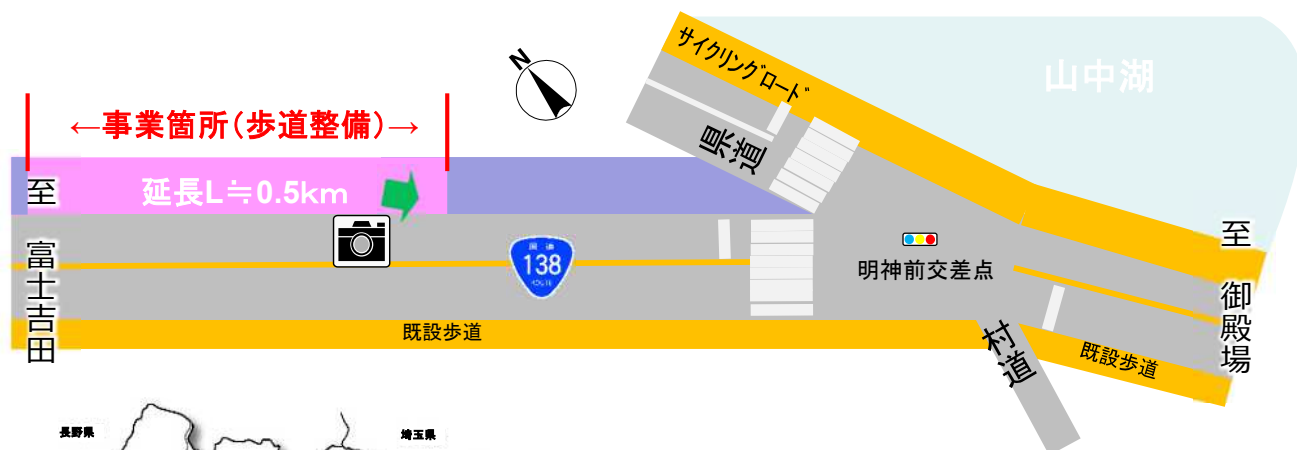
【事業の効果】

- 当該区間の自転車歩行者道の整備により、歩行者、自転車の安全性向上が期待されます。
- 山中湖を一周するサイクリングロードが完成し、周遊観光のネットワークが形成されます。

【事業の概要】

当該箇所は、国道138号南都留郡山中湖村山中に位置し、周辺には山中湖があることから観光シーズンには多くの観光客が訪れる地区です。国道138号下り線については、前後区間の歩道は整備されていますが、当該箇所には歩道が設置されておらず、観光客が車道を歩いているなど危険な状況です。

本事業は、歩道を新設することにより、安全で安心な歩行空間を確保するものです。



[令和4年3月撮影]

【令和4年度の予定】

調査設計、用地買収を推進します。

【事業の効果】

当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行者の安全・安心の向上が期待されます。

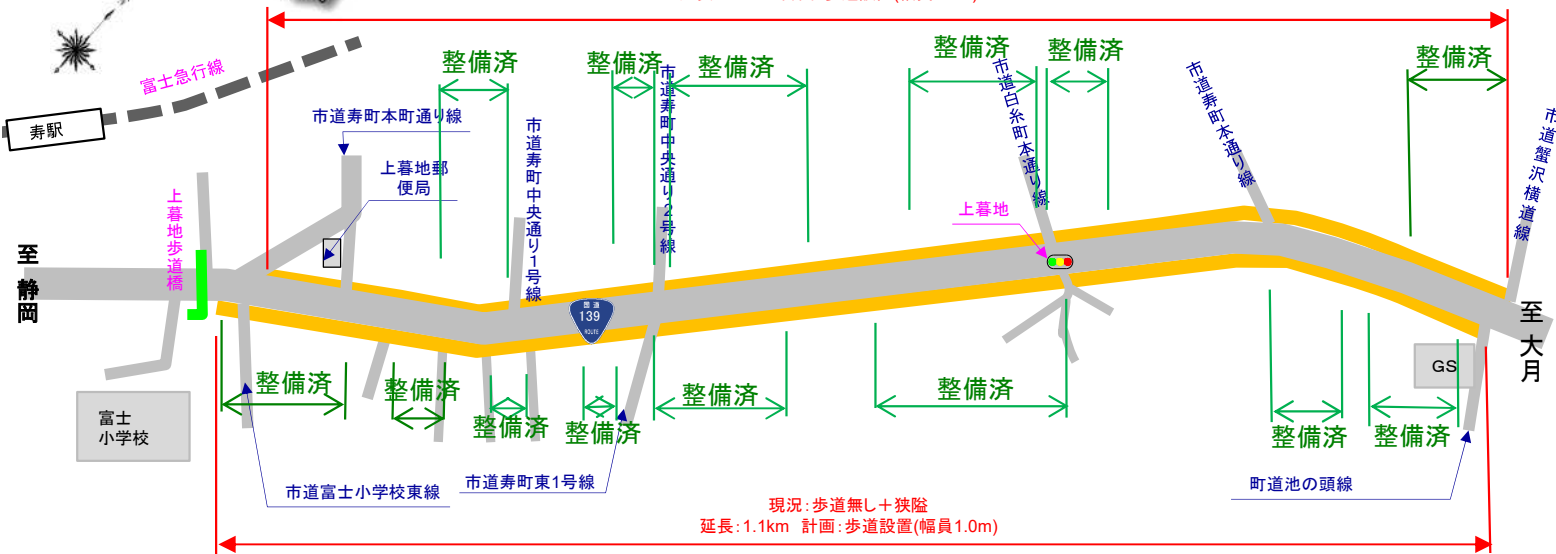
【事業の概要】

当該箇所は、国道139号富士吉田市上暮地地区の歩道未設置区間ですが、大型車両やバスの通行が多い状況となっています。また、平成16年～平成19年事故発生状況によると追突事故が25件、人対車両事故が1件発生しており、平成20年には自転車利用者の死亡事故が発生しています。

本事業は、歩行者及び自転車の安全性を確保するため、歩道整備を行うものです。



現況:歩道無し+狭隘
延長:1.1km 計画:歩道設置(幅員1.0m)



【令和4年度の予定】

調査設計、用地買収及び工事を推進します。

【事業の効果】

当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行者等の安全・安心の向上が期待されます。

道の駅「富士川」

【事業の概要】

当該箇所の道の駅「富士川」は、南巨摩郡富士川町青柳地内に位置し、増穂地区河川防災ステーション、中部横断自動車道増穂パーキングエリアと一体的に整備された道の駅で、国道52号や中部横断自動車道から直接アクセス可能となっております。

現在、道の駅「富士川」は、中部横断自動車道（山梨－静岡間）の開通に伴う利用者の増加や、「防災道の駅」の選定により、広域的な防災拠点としても更なる機能強化のニーズが高まっている状況です。そのため、駐車スペース増設及び連絡橋の整備を行い、道の駅としての機能強化を図るものです。



[令和4年2月撮影]

【令和4年度の予定】

調査設計・工事を推進します。

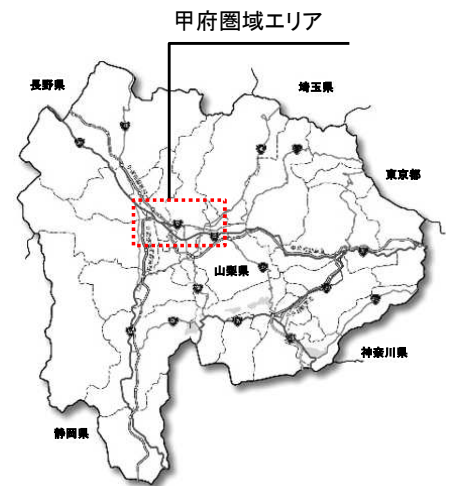
【事業の効果】

駐車スペース増設により、道の駅利用者の駐車時の混雑緩和と防災機能強化が期待されます。

【事業の概要】

山梨県の中核都市である甲府市を中心に隣接する笛吹市・甲斐市・及び韮崎市の国道20・52号において、市街地やその周辺地区の経済活動・防災対応の拠点となるエリアを無電柱化することにより、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。

■甲府圏域エリアの整備状況



■電線共同溝の整備イメージ



■状況写真(甲斐電線共同溝)



道路沿いの電柱・電線類 [令和3年3月撮影]

【事業の効果】

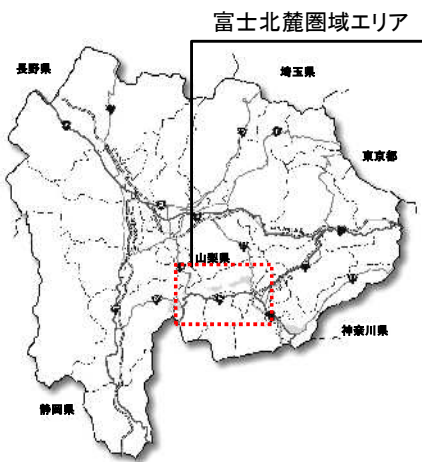
電線共同溝の整備により、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成等に寄与することが期待されます。

【令和4年度の予定】

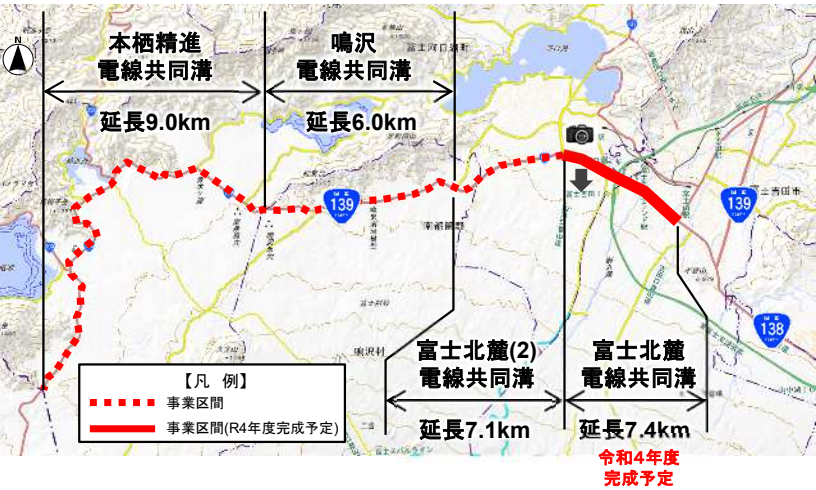
箇所名	事業内容
国道 20 号 甲府電線共同溝	本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道 20 号 甲府住吉電線共同溝	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道 20 号 甲府国母電線共同溝	調査設計を推進
国道 20 号 甲府徳行電線共同溝	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道 20 号 甲斐電線共同溝	本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進

【事業の概要】

国道139号、山梨県南都留郡河口湖町本栖(静岡県境)～南都留郡鳴沢村～富士吉田市上吉田間において電線共同溝を整備するもので、富士北麓地域の景観の向上及び、安全で快適な歩行空間の確保並びに災害時における緊急輸送道路の確保を図るものです。



■富士北麓圏域エリアの整備状況



■状況写真



富士山の眺望を阻害する電柱電線類
[令和3年11月撮影]

【事業の効果】

電線共同溝の整備により、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成等に寄与することが期待されます。

【令和4年度の予定】

箇所名	事業内容
国道139号 本栖精進電線共同溝	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道139号 鳴沢電線共同溝	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道139号 富士北麓(2)電線共同溝	本体工事(引込連系管路工事等を含む)を推進
国道139号 富士北麓電線共同溝	引込管等工事及び路面復旧工事を推進

道路維持管理(日常の管理)

【日常管理】

一般交通に支障をきたさないよう道路を常時良好な状態に保ち、道路利用者などに対して安全で円滑な交通を確保するために、道路巡回、道路清掃、除草、及び樹木の剪定・伐採などの各作業を実施します。

また、除雪については、関係機関と連携しながら、必要に応じて災害対策基本法に基づく指定区間の通行止めや車両移動等を行い、着実かつ効率的な除雪作業を実施します。



道路巡回状況



道路清掃作業状況



除草作業状況



除雪作業状況



樹木剪定状況



緊急対応状況(落下物処理)

道路の老朽化対策(点検)

【事業の概要】

我が国社会資本の老朽化が進む中で、「国民の命を守る」観点から、社会資本の戦略的な維持管理・更新を推進することが必要であり、甲府河川国道事務所管内においても、道路施設の老朽化対策を進めているところです。

安全安心等を確保するため、点検→診断→措置→記録→(次の点検)のメンテナンスサイクルを継続的に回していくことが重要です。

- 1) 点検
 - ・状態把握、損傷発見 など
- 2) 診断
 - ・状態や損傷の程度の評価、損傷による影響の判断、計画策定 など
- 3) 措置
 - ・補修補強、更新
- 4) 記録

【令和4年度の予定】

■道路管理施設等の点検・診断

橋梁点検、トンネル点検、横断歩道橋点検、道路附属物点検、のり面工・土工構造物点検、防災点検 等を実施します。



橋梁点検実施状況



トンネル点検実施状況



道路附属物点検実施状況

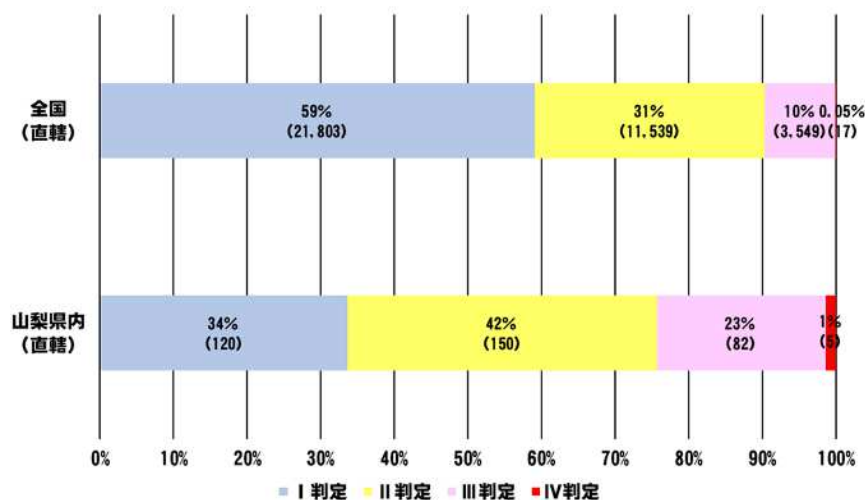


防災点検(ブロック積)実施状況

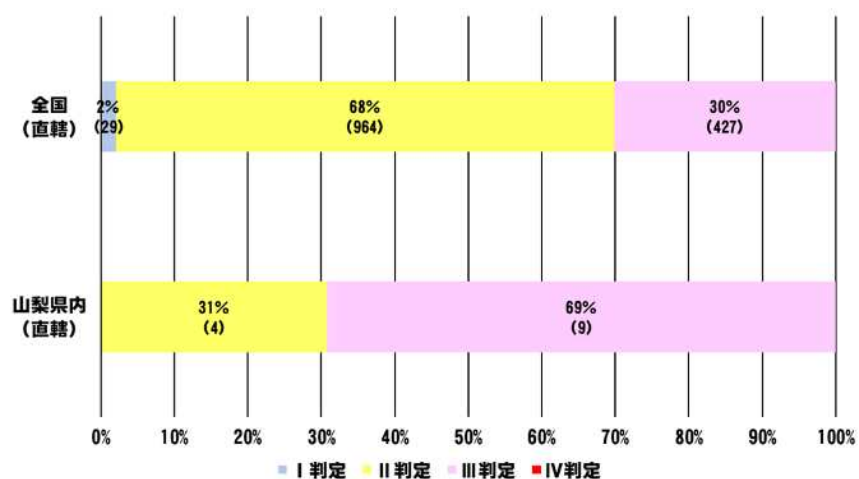
山梨県における道路施設の老朽化対策【点検】の状況

直近5年間(2016～2020年度)の点検における2020年度末時点での判定区分の割合
【全国(直轄)と山梨県内(直轄)の比較】

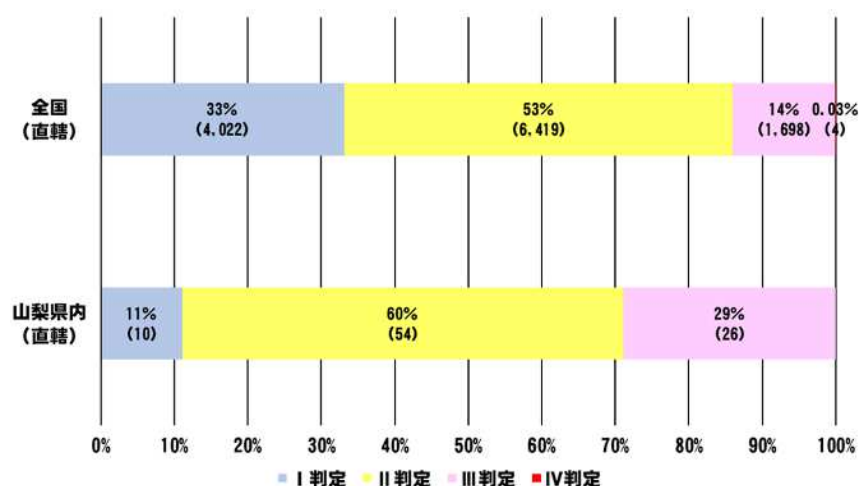
【橋梁】



【トンネル】



【道路附属物】



道路の老朽化対策(修繕等措置)

■道路管理施設等の措置

1) 橋梁補修

国道 20号 : おおつき 大月橋、しみずにはし 清水二之橋 他

対策前



対策後



橋梁補修の事例(高欄補修、桁塗装)

2) 横断歩道橋補修

国道 52号 : あいおい 相生横断歩道橋

国道139号 : ひがしかつら お ぬま 東桂小沼横断歩道橋 他

対策前



対策後

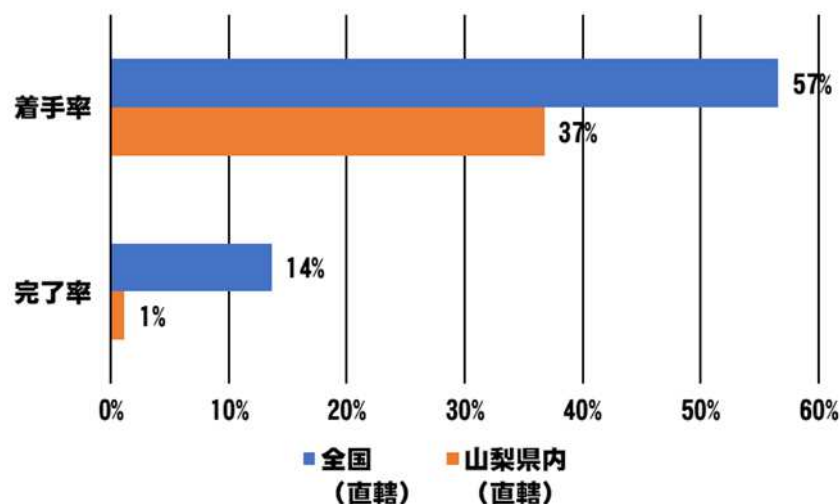


横断歩道橋の事例(階段部補修)

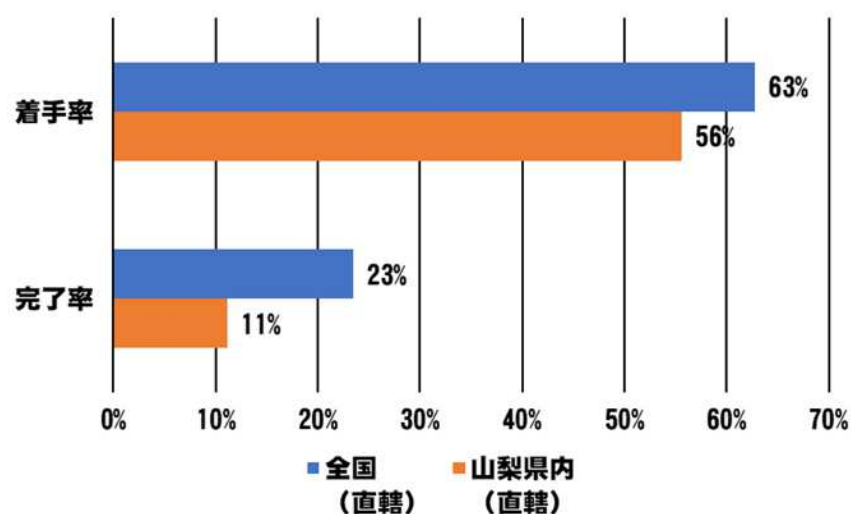
山梨県における道路施設の老朽化対策【修繕等措置】の状況

直近5年間(2016～2020年度)の点検で早期に措置を講ずるべき状態(判定区分Ⅲ)又は緊急に措置を講ずるべき状態(判定区分Ⅳ)と診断された各道路施設の修繕等の措置に着手した割合及び完了した割合【全国(直轄)と山梨県内(直轄)の比較】

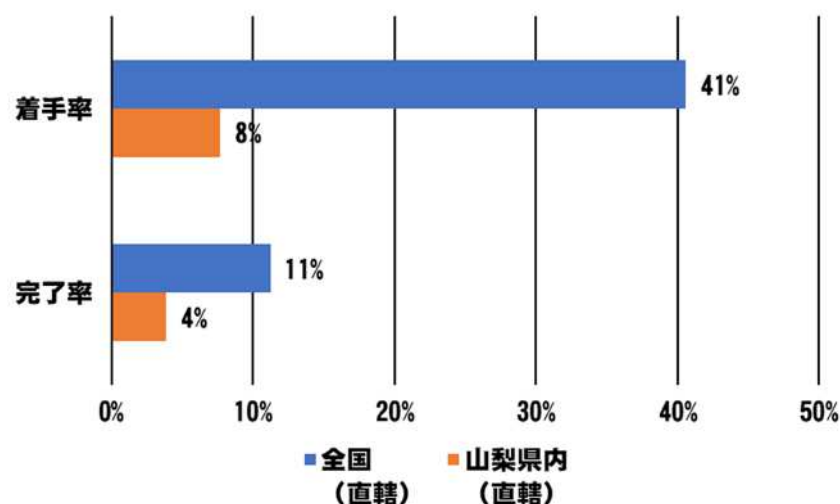
【橋梁】



【トンネル】



【道路附属物】



道路メンテナンス会議

～県内の道路管理者が連携して道路橋等の老朽化対策を進めています～

【事業の概要】

山梨県内の道路橋の約60%は、1950年代後半から1980年代前半にかけて建設されており、建設後50年を経過した橋梁が数多く存在しています。

こうした道路施設の老朽化に対応して、適切な維持管理を行っていくことを目的として、点検基準の法定化、国による修繕等代行制度の創設について、平成25年6月に道路法が改正され、平成26年度から、すべての道路管理者に対して5年に1回の近接目視点検を実施することが義務付けられました。

これを受けてメンテナンスサイクル(点検→診断→措置→記録)を回す仕組みとして、県内のすべての道路管理者が参画する「山梨県道路メンテナンス会議」が平成26年5月に設置されました。

【令和4年度の予定】

山梨県内の道路施設を安心して利用できるように、県内のすべての道路管理者と協力して、引き続き道路メンテナンスサイクルの実施に取り組めます。

自治体支援を目的とした、道路管理者としての点検技術力の向上を目的とする研修や講習会を実施します。

【参考】令和3年度の主な取組



山梨県道路メンテナンス会議
(コロナ禍によるオンライン開催)



新技術講習会 ～連続打音検査装置～
(コロナ禍によるオンライン開催)

- 令和3年度山梨県道路メンテナンス会議
第1回 R3. 7. 15 第2回 R3. 11. 4
- 令和3年度山梨県跨道橋連絡会議 R3. 11. 4

- 新技術講習会(点検支援技術の活用等) R4. 1. 17

道路の防災対策

近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、大規模地震の発生も切迫しております。また、高度成長期以降に集中的に整備された多くのインフラの老朽化が見込まれることから、それらの維持管理・更新を確実に実施する必要があります。

こうした状況を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の施策に基づき、道路事業においては、道路施設の老朽化対策や、道路の法面・盛土の土砂災害防止対策や渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流出対策などを進めています。

法面防災

し お つ まつどめ
国道20号：上野原市四方津、上野原市松留



山梨県上野原市四方津地先
【防災対策】場所打法枠工等



山梨県上野原市松留地先
【防災対策】吹付法枠工等

舗装修繕

さる はし
国道 20号(大月市猿橋地先)



施工前



施工後

舗装修繕の事例(切削オーバーレイ)

令和4年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

「令和4年度関東地方整備局関係予算の概要について」山梨県該当部分を抜粋

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

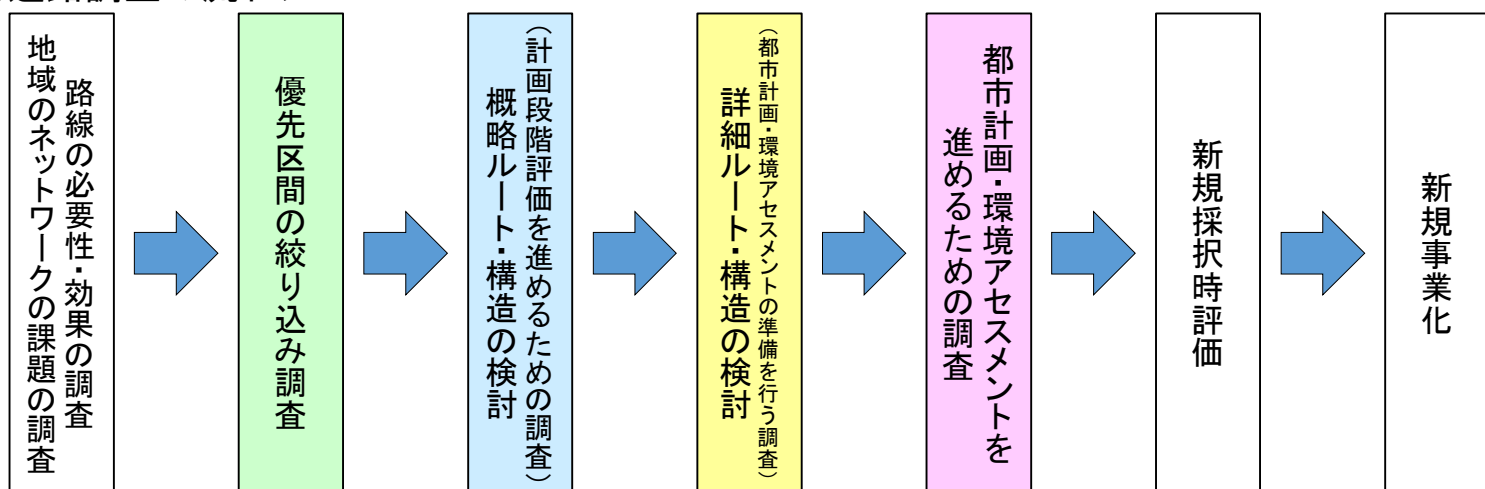
山梨県・長野県 中部横断自動車道 長坂～八千穂

○近年の激甚化する自然災害の状況を踏まえ、中央道軸の機能強化を検討するとともに、管内の事前通行規制区間については、解消に向け課題の整理やデータ収集・分析などの基礎的な調査を実施します。

○その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

○さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



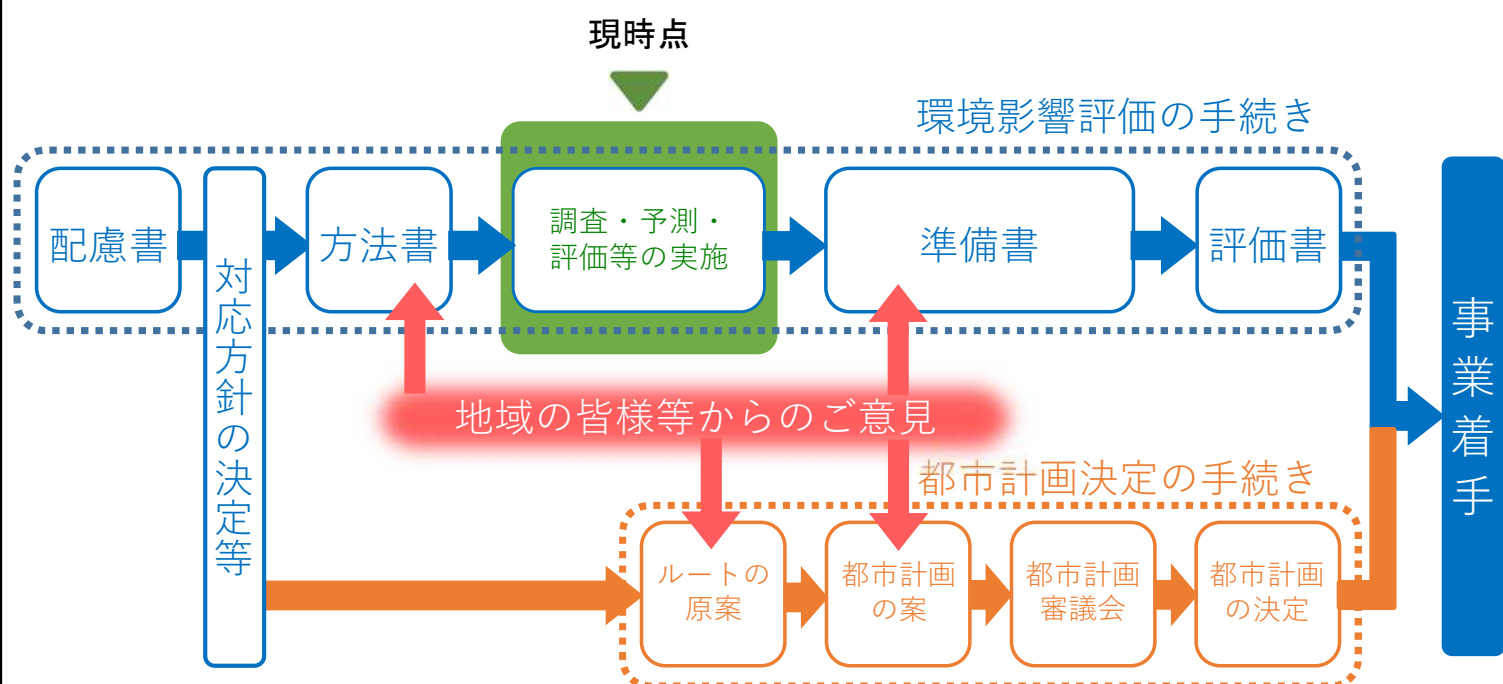
中部横断自動車道(長坂～八千穂)【調査中】

- 中部横断自動車道の長坂～八千穂間については、令和元年8月に山梨県及び長野県が環境影響評価方法書の公告・縦覧を実施。
- 令和4年度は、都市計画及び環境影響評価の手続きに必要な詳細ルートを検討や環境調査を実施中。

【1kmルート帯及びICの概略位置】



【環境影響評価・都市計画手続きの流れ】



インフラDX(河川事業)

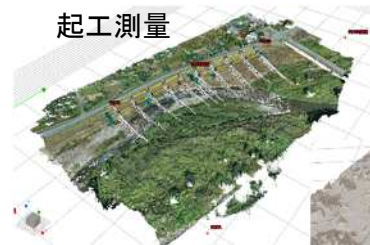
【工事現場での取組】

甲府河川国道事務所が発注している工事現場において、各施工段階で生産性向上に向けたICT施工を実施しています。

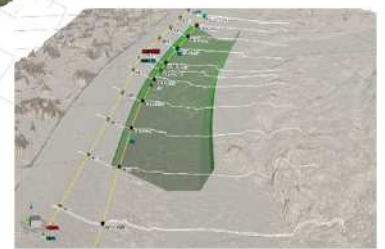
3次元起工測量～完成図

従来の起工測量に比べ、詳細な3次元地形データを一括で広範囲で取得でき、測量時間の短縮や設計時に不足していた地形情報などの測量データも取得でき、生産性の向上に寄与しています。

起工測量から完成図まで一括管理できます。



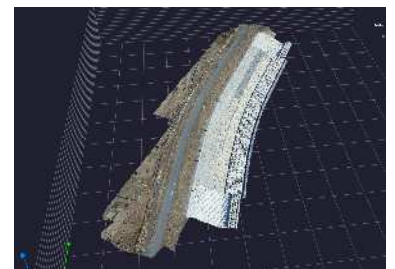
起工測量



土工完了



UAVによる起工測量



完成図

ICT建設機械による施工

ICT建設機械を活用することで、丁張りの作業が不要となり、労働力の低減、工期短縮が図られます。

また、掘削や法面整形の作業においては、設定した数値での土工が行われるため、手直しのための作業や測量の手間を省くことができます。



ICT建設機械による掘削



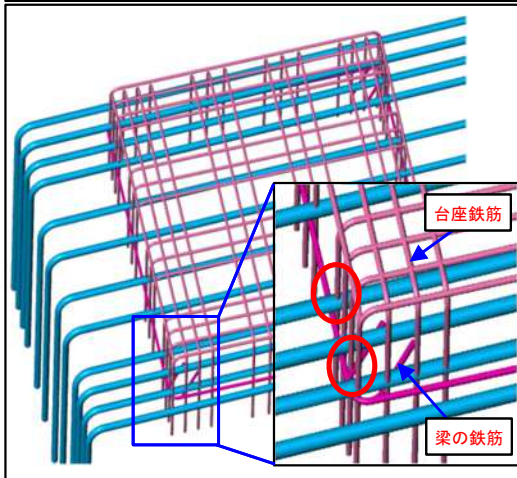
ICT建設機械による法面整形

インフラDX(道路事業)

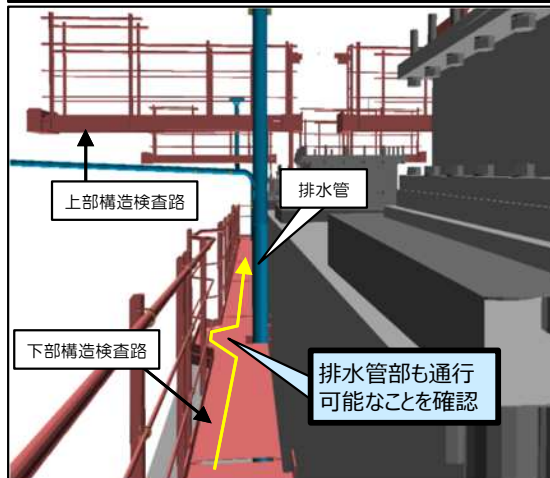
～建設生産・管理システム全体の生産性向上に向けて～

【設計の取組】3次元CIMモデルの作成・活用

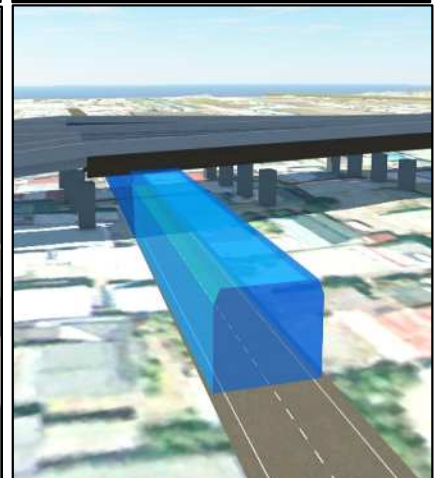
配筋の干渉確認



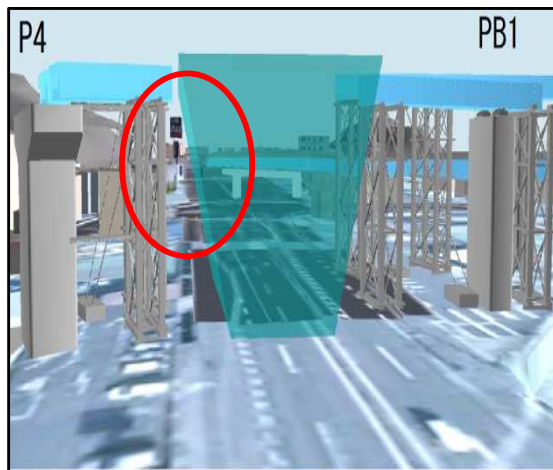
維持管理性の確認(検査路の動線確認)



交差道路との建築限界確認



施工条件の確認(架設時の俯角確認)



施工条件の確認(重機配置の検討)



【施工→管理の取組】管理用3次元CIMモデルへの3次元点検結果の格納試行

管理用3次元CIMモデルの作成イメージ

設計及び施工の属性情報格納した3次元モデルに管理の属性情報を付与

3次元モデル

属性情報 (設計)

- ・部材情報
- ・規格

等

属性情報 (施工)

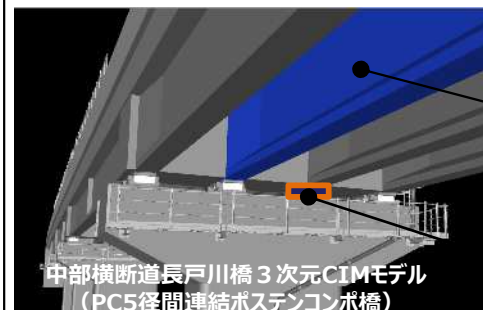
- ・品質試験結果
- ・材料試験結果
- ・出来形成果表

等

属性情報 (管理)

- ・点検結果

等



A1-P1径間 G2桁

- ・属性情報 (設計)
- ・属性情報 (施工)
- ・属性情報 (管理)

支承P1L-3

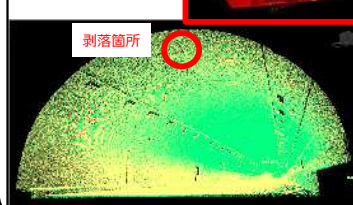
- ・属性情報 (設計)
- ・属性情報 (施工)
- ・属性情報 (管理)

中部横断道長戸川橋 3次元CIMモデル
(PC5径間連結ボスコンボ橋)

3次元CIMモデルへの点検結果の格納イメージ

3次元点検結果

点群データによる変状確認



画像処理によるひび割れ検出



出典: FUJIFILM

3次元変換

＋重ね合わせ

3次元CIMモデル



地域防災の取り組み

【TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）】

TEC-FORCEは、大規模自然災害が発生、又は発生するおそれがある場合に、地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

国土交通省、国土技術政策総合研究所、国土地理院、地方整備局、気象庁に設置され、大規模自然災害が発生したときは、被災地にTEC-FORCEを派遣し、被害状況の調査、被害の拡大防止、早期復旧に関する地方公共団体の支援を行います。

甲府河川国道事務所では、平成30年2月の福井県豪雪及び平成30年7月中国・四国豪雨では、被災地にTEC-FORCE隊員を派遣し支援を行いました。



被災状況調査(土砂崩落)



被災状況報告

【災害対策用機械】 甲府河川国道事務所に配備

甲府河川国道事務所には、以下の災害対策用機械が配備されています。

令和元年10月の台風19号では、排水ポンプ車等の派遣を行いました。

災害対策用機械は、地方公共団体の要請により貸付が可能です。年に1度の頻度で、災害時対応職員及び甲府河川国道事務所災害協力協定会社と合同の操作訓練を行っています。

照明車（2台）



照明灯
2,000w×6灯
(2台)

- ・夜間作業現場及び避難所を照明
- ・発電機を装備し、電源供給も可

対策本部車（1台）



約20㎡の
作業スペース
(10名程度収容)

- ・対策本部として情報収集、復旧作業の指揮、対策検討、他機関との連絡の拠点

待機支援車（1台）



最大9名分の
仮眠ベッドを確保

- ・収納式ベッド、トイレ等を装備
- ・休憩、仮眠施設として機能
- ・最大9名の人員輸送が可能

衛星通信車（1台）



- ・災害現場における通信手段の確保や情報を収集
- ・山間部等の通信困難地域でも対応が可能



排水ポンプ車（4台）



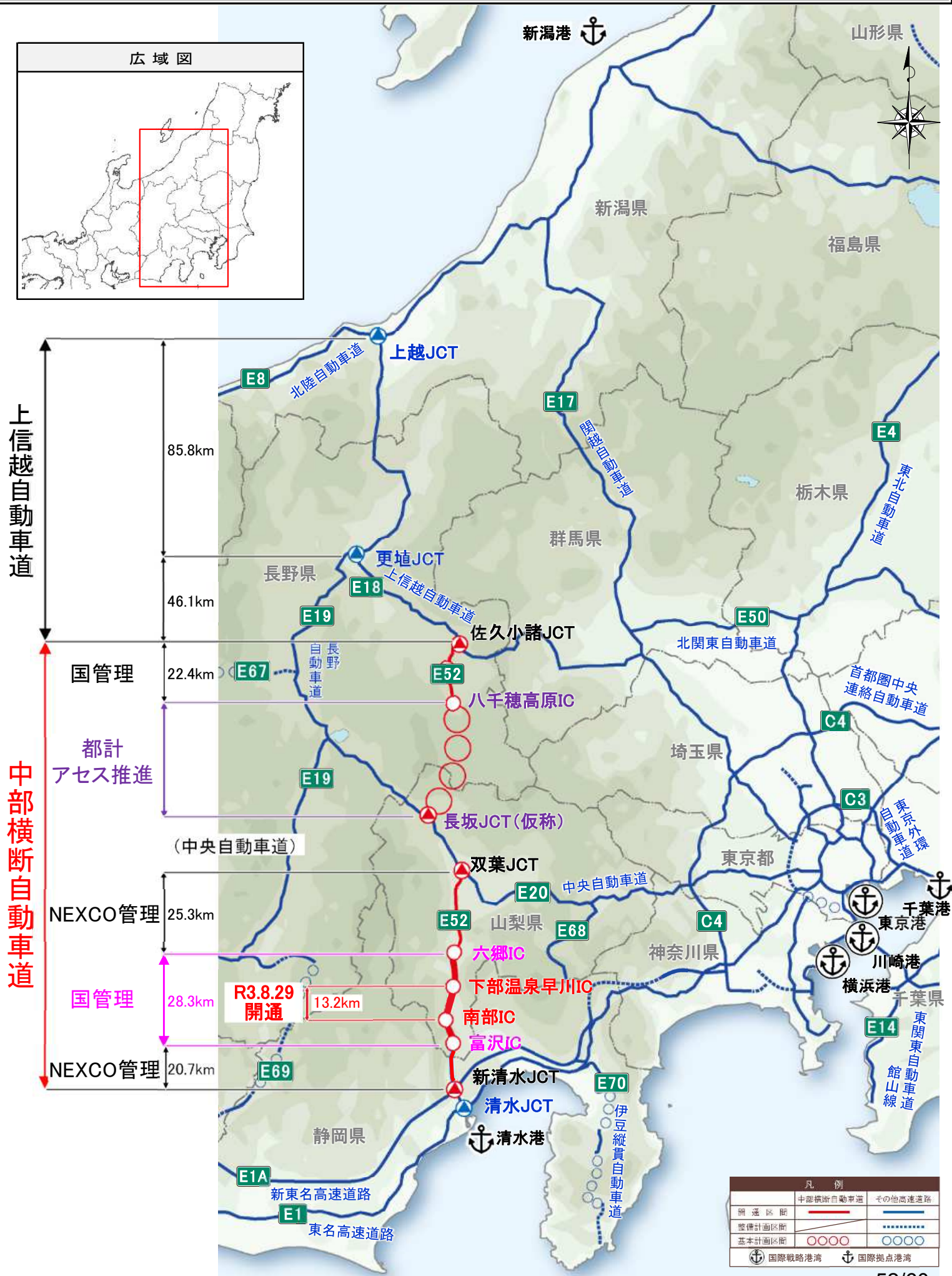
- ・市街地等にたまった水を河川へ排水

排水能力

30m³/min 3台
60m³/min 1台

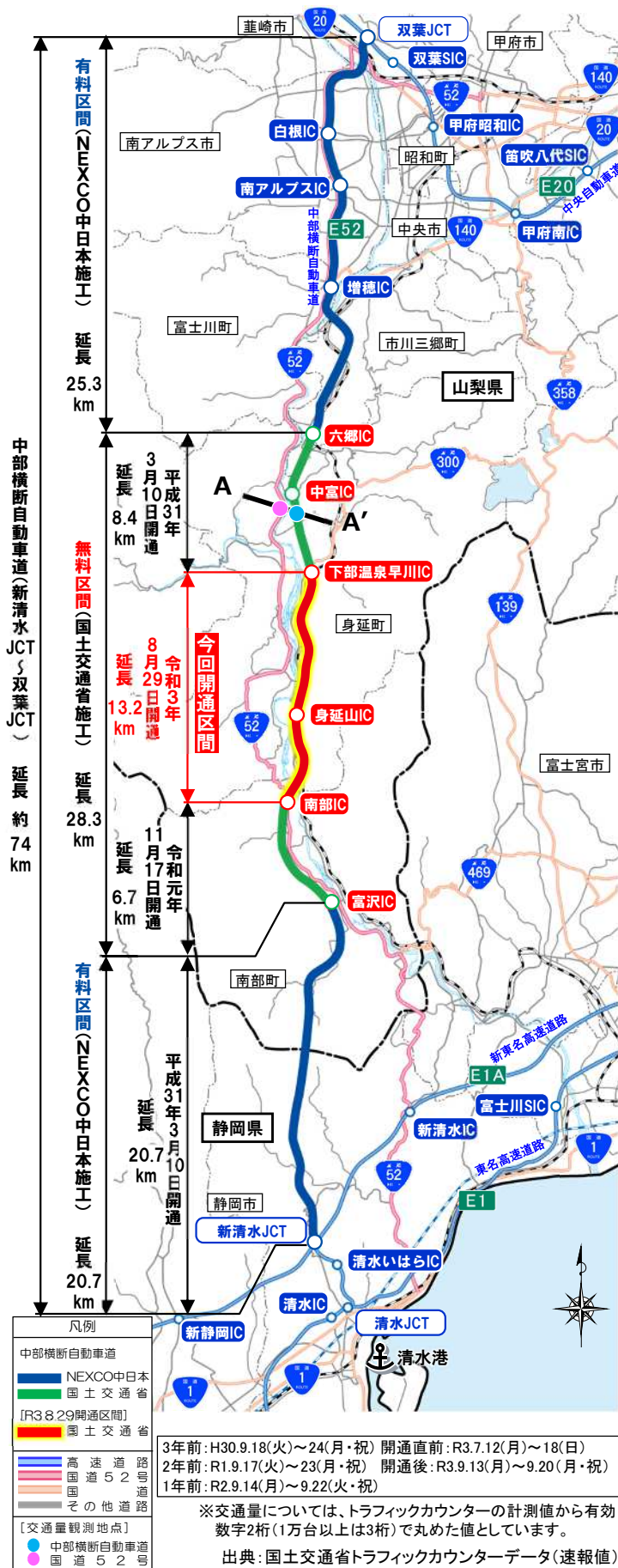


中部横断自動車道の概要



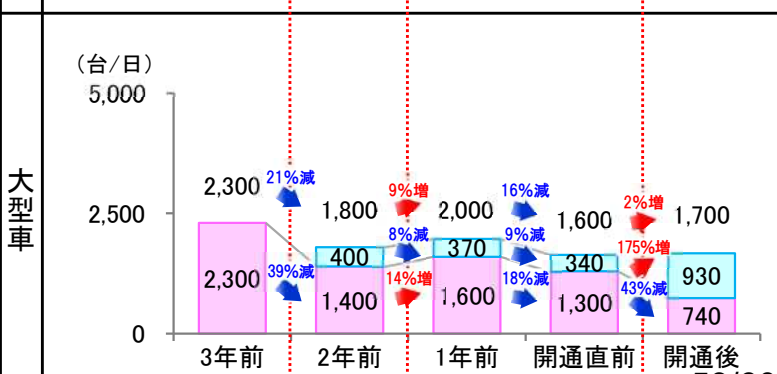
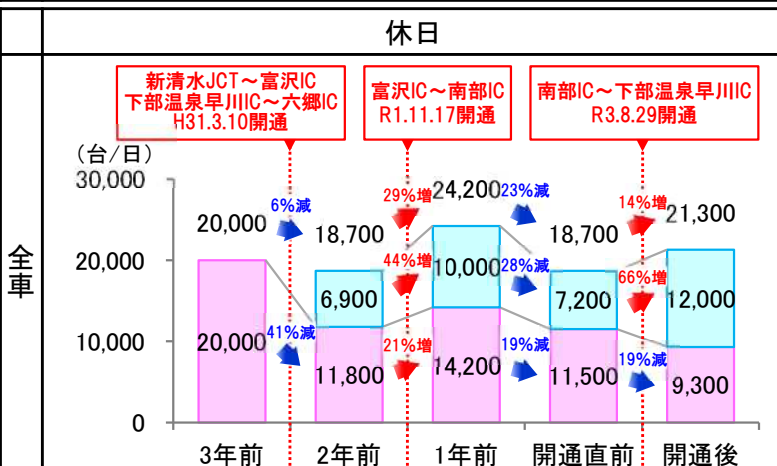
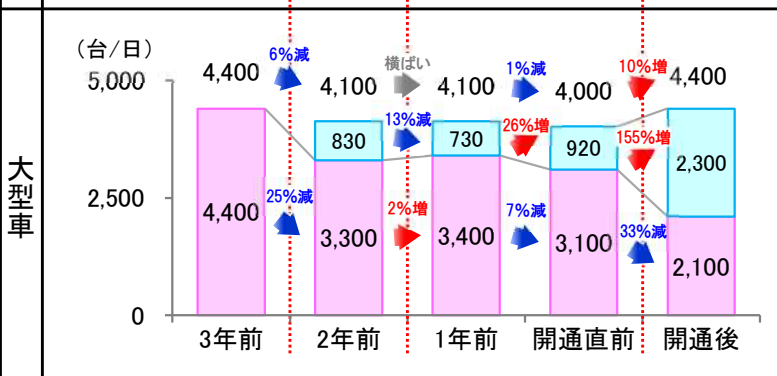
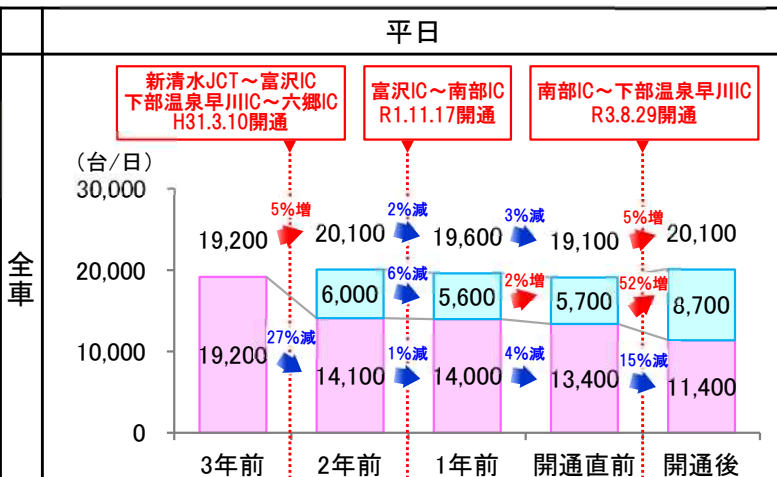
中部横断自動車道(山梨～静岡)全線開通後の交通状況

- 中部横断自動車道の下部温泉早川IC～中富ICの交通量は、約8,700台/日(平日)、約12,000台/日(休日)。
- 並行する国道52号の交通量は約2割減少。うち休日の大型車は約4割減少し、国道52号から中部横断自動車道への転換が図られている。
- 中部横断自動車道と国道52号を合計した断面交通量は、約1割増加。



断面交通量の変化(A-A'断面)

■ 中部横断自動車道(下部温泉早川IC～中富IC) ■ 国道52号



中部横断自動車道(静岡～山梨間)のストック効果 ～農産品の海外輸出支援～

- 山梨の主要農産品であるモモ・ブドウ等の青果物の海外への輸出は、山梨県知事のトップセールスをはじめとした海外への山梨ブランドのアピールを積極的に取り組み、増加傾向。
- 中部横断自動車道の整備により、山梨県から国際拠点港湾までの輸送時間が**最大約80分短縮**。(【整備前】東京港・横浜港：約180分、清水港：約160分 ⇒ 【整備後】清水港：約100分)
- 清水港では農水産物の輸出促進に向け、リーファーコンテナ電源供給設備等の整備を実施。
- 中部横断自動車道の整備、清水港の取り組みの相乗効果により、海外輸出をさらに促進。

山梨県から輸出港(国際拠点港湾)までの輸送ルート

中央自動車道利用の場合

東京港、横浜港までの
輸送時間は**約180分**※1

一般道(国道52号)利用の場合

- ・清水港までの輸送時間は**約160分**※1
- ・通行支障箇所等により走行性が悪い



中部横断自動車道の整備により

清水港までの輸送時間は**約100分**※1



山梨県から清水港へのアクセス性向上により、
農産品等の海外輸出を促進

※1:港への輸送時間と港における待機時間の合計

・輸送時間は、高速道路:80km/h、中部横断道:70km/h、一般道路:40km/hで算出

・待機時間は、東京都トラック協会海上コンテナ専門部会、神奈川県トラック協会海上コンテナ専門部会(ともに平成27年12月)、清水港利用促進協会(平成27年10月)の調査結果

山梨県における青果物の海外輸出の取組

■山梨県知事による海外でのトップセールス



平成27年
シンガポール
インドネシア
平成28年
タイ、マレーシア
インドネシア
平成29年
台湾、ベトナム
インドネシア
平成30年
インドネシア
ベトナム
フィリピン
平成31年
中国

平成31年4月/於、中国

清水港における港湾施設整備の状況

■リーファーコンテナ※2用の電源供給設備を増設(H30.8)



※2 内部を一定温度に保つ設備を持つコンテナ。冷凍・冷蔵の必要がある食品や医薬品などの輸送に利用。54/60

中部横断自動車道(静岡～山梨間)のストック効果 ～沿線への新たな企業立地～

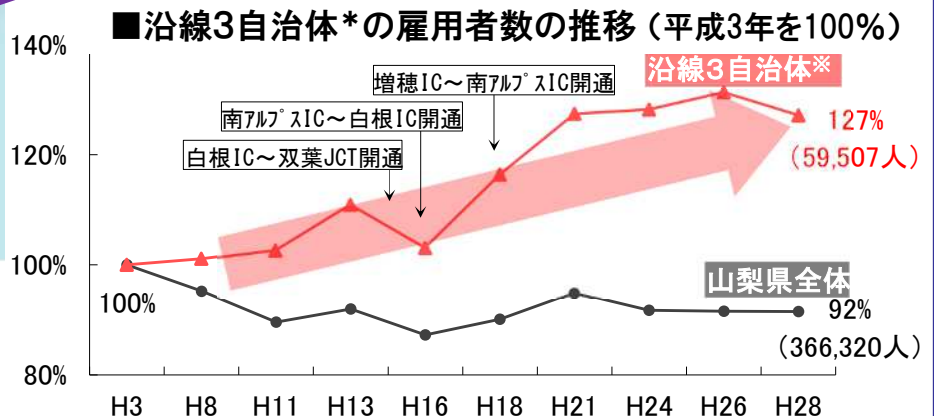
- 中部横断自動車道の沿線では、高速道路への良好なアクセス性から、既に新たな企業立地が進展。地域の雇用創出に貢献。
- 山梨～静岡間の全線開通により、更なる企業立地の進展、それによる地域の雇用創出、地域の産業振興への貢献が期待される。



	開設時期	所在地	業種等
①	令和5年 操業開始予定	南アルプス市	化粧品工場
②	令和3年 操業開始	南アルプス市	洗口液工場
③	令和4年 開設予定	中央市	物流センター
④	令和2年 開設	中央市	物流センター
⑤	令和元年 操業開始	身延町	合板工場
⑥	令和2年 操業開始	身延町	除菌水 生成工場
⑦	令和3年 開設	南部町	物流センター
⑧	令和2年 開設	静岡市	国際物流 センター



⑧国際物流センター(令和2年開設) R3.6.19撮影



出典: 事業所企業統計調査(～H18)、経済センサス基礎調査・活動調査(H21～)より民営のみ集計
※沿線3自治体: 南アルプス市、中央市、昭和町

中部横断自動車道(静岡～山梨間)のストック効果 ～富士山を囲む広域周遊観光ルートの形成～

- 中部横断自動車道の全線開通により、富士山を囲む高規格道路ネットワークが形成。
- これにより、富士山を囲む新たな広域周遊観光ルートが形成され、首都圏・中京圏からの国内観光や富士山静岡空港・清水港を玄関口としたインバウンド観光をはじめとする山梨・静岡両県における観光の活性化が期待される。

■広域周遊観光ルートのイメージ



■山梨県と静岡県の連携



「バイ・ふじのくに」とは…
富士の国やまなし、ふじのくに静岡の旬の農畜水産物を互いに購入しあって相互に助け合うとともに、ふじのくにの産品を協同で販売促進し、ともに「ふじのくに」をさらに元気にする取り組みです。(出典：山梨県HP)

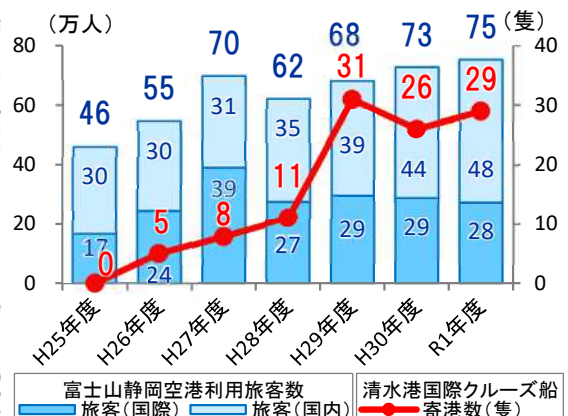
■観光施設の声

首都圏
今回の開通では静岡側がぐっと近くなるため、浜松や愛知・三重方面に加え、富士山静岡空港をご利用のお客様など、多くの地域から来ていただけることに期待しています。

出典：令和3年6月ヒアリング結果



■富士山静岡空港利用旅客数および清水港国際クルーズ船寄港数の推移



出典：暦年・年度別空港管理状況調査(国土交通省)
清水港客船誘致委員会提供資料

中部横断自動車道のストック効果 ＜太平洋・日本海2面活用＞

- 中部横断自動車道の全線が完成することで、上信越自動車道を介して太平洋と日本海の両方を結ぶ高速道路の南北軸が形成。

中部横断自動車道による広域物流ネットワーク強化

【新潟港、清水港両方向への物流アクセス向上】



- 太平洋側ゲートウェイ(清水港)から北米へ、日本海側ゲートウェイ(新潟港)から東アジアさらにはユーラシア双方への内陸部からの輸出ルートが形成され、我が国の国際競争力の強化に寄与。

【太平洋・日本海ゲートウェイプロジェクト】（抜粋）

我が国の国際競争力を強化するため、コンテナターミナルの整備や空港容量の拡大等の基盤強化、ゲートウェイへのアクセスの向上等を総合的に進めることにより、太平洋、日本海に面している広域首都圏の地理的有効性を生かした国際ゲートウェイ機能の強化を図る。

〔太平洋側ゲートウェイ（部分抜粋）〕

- 千葉港、茨城港等における多目的国際ターミナル等の整備、清水港、小名浜港等の利用促進による効率的な国内外の海上輸送網の構築

〔日本海側ゲートウェイ（部分抜粋）〕

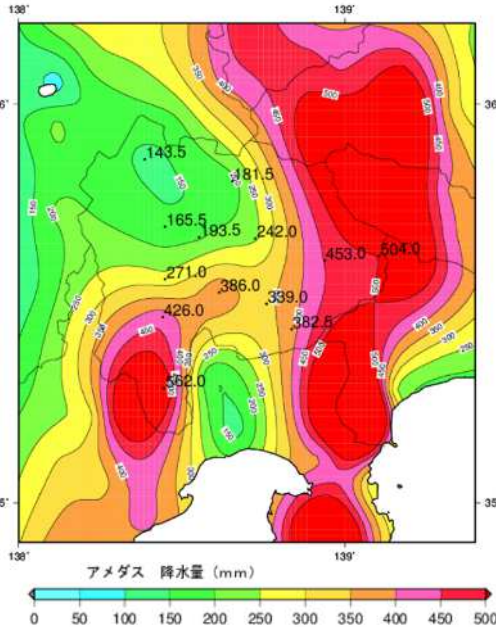
- 東アジアの発展ポテンシャルを踏まえた、北関東地域及び埼玉県北部の内陸型製造業等による新潟港の利用促進

【参考】令和元年東日本台風による山梨県への影響

山梨県内では、令和元年台風19号により、

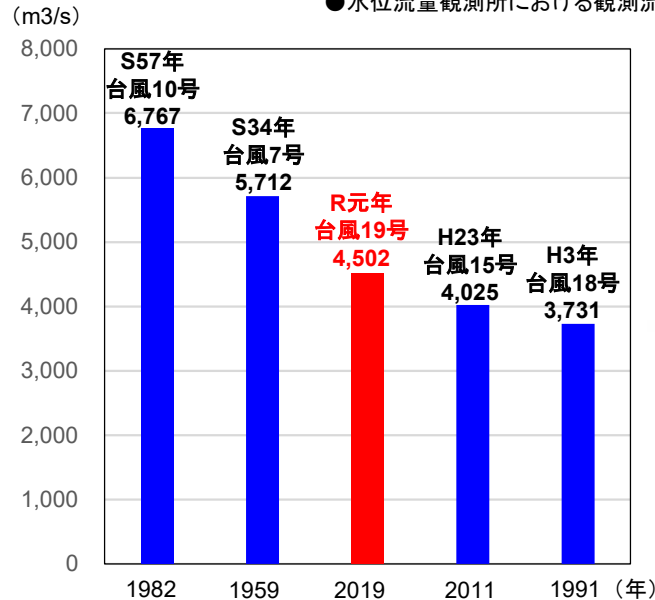
- ・ 降り始め(10日19時)から12日22時までの総降水量は、最大562mm(南部町)を観測。
- ・ 清水端(富士川町)の富士川の流量は、最大4,502m³/sを観測し、戦後3番目の値を記録。

●降水の状況：アメダス総降水量分布図
(令和元年10月10日19時～12日22時)



出典：令和元年台風第19号に関する山梨県気象速報
(甲府地方気象台)

●水位流量観測所における観測流量値



清水端水位流量観測所で4,502m³/sの流量を観測し、戦後3番目の値を記録した。



■山梨県内の交通への影響(災害による通行止め)

- ・ 中央自動車道 10月12日～10月19日 通行止め(八王子JCT～大月IC)
- ・ 中部横断自動車道 10月12日～10月14日 通行止め(六郷IC～中富IC)
- ・ 国道20号 10月12日～11月28日 通行止め(法雲寺橋)
- ・ 国道52号 10月12日～10月17日 通行止め(古屋敷)

■富士川等における洪水予報の発表

台風第19号の影響により避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求めるため、気象庁と共同して富士川において洪水予報(氾濫警戒情報等)を発表。

予報区域	基準観測所	河川名	日時	内容
富士川 (釜無川を含む)	清水端	富士川	10月12日 14:20	氾濫注意情報発表
			10月12日 20:10	氾濫警戒情報発表
			10月13日 0:10	氾濫警戒情報解除発表
			10月13日 5:20	氾濫注意情報解除発表

【参考】令和元年東日本台風による被災箇所と復旧状況 (甲府河川国道事務所管内・道路)



① 国道20号 法雲寺橋

被災状況



現在の復旧状況



② 国道52号 古屋敷

被災状況



法面復旧後の状況



③ 中部横断自動車道 城山トンネル

被災状況

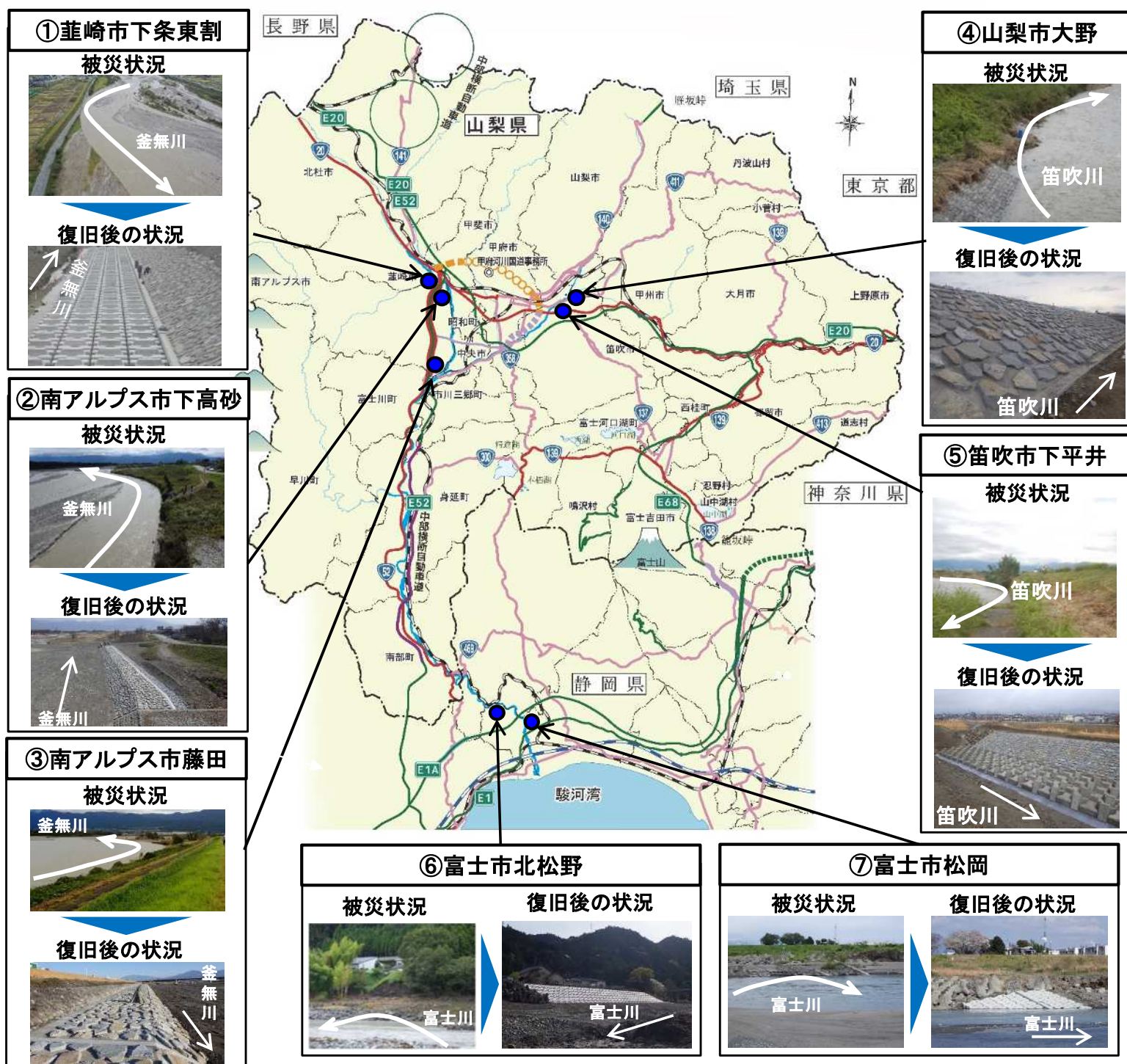


法面復旧後の状況



No.	箇所	被災状況	復旧状況
①	国道20号法雲寺橋	橋脚沈下	R4.4.3復旧完了
②	国道52号古屋敷地先	法面崩落	R4.1.15法面復旧完了
③	中部横断自動車道 城山トンネル抗口付近	法面崩落	R4.1.31法面復旧完了

【参考】令和元年東日本台風による被災箇所と復旧状況 (甲府河川国道事務所管内・河川)



No.	箇所	被災状況	復旧状況
①	韮崎市下条東割地先	河岸侵食、護岸損傷	R3.3.31護岸整備完了
②	山梨県南アルプス市下高砂地先	河岸侵食	R3.3.31護岸整備完了
③	山梨県南アルプス市藤田地先	河岸侵食、護岸損傷	R3.3.31護岸整備完了
④	山梨市大野地先	河岸侵食	R3.3.31護岸整備完了
⑤	笛吹市石和町下平井地先	河岸侵食	R3.3.31護岸整備完了
⑥	静岡県富士市北松野地先	河岸侵食	R3.3.31護岸整備完了
⑦	静岡県富士市松岡地先	河岸侵食	R3.3.31護岸整備完了